

令和3年度  
事業報告書

社会福祉法人  
北区社会福祉協議会



# 目 次

## 令和3年度 事業報告

I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分	1
1. 法人運営事業サービス区分関連事業	1
(1) 組織運営事業	1
(2) 調査・研究・企画・広報事業	9
(3) 連絡調整事業	12
(4) 岸町ふれあい館運営	16
(5) 基金運営事業	17
2. 地域福祉事業サービス区分関連事業	18
(1) 地域福祉ネットワーク事業	18
(2) 福祉教育・啓発事業	27
(3) 援護事業	30
3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業	31
(1) 友愛ホームサービス事業	31
(2) その他の在宅福祉サービス事業	34
4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業	38
(1) 地域福祉・ボランティア活動推進事業	38
5. 助成事業サービス区分関連事業	43
(1) 地域ささえあい団体助成事業	43
(2) 子ども・若者応援基金助成事業	46
6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業	47
(1) 地域福祉権利擁護事業	47
7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業	49
(1) 権利擁護センター「あんしん北」事業	49
(2) 成年後見事業	54
(3) 成年後見事業(委託)	57
8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業サービス区分関連事業	60
(1) 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業	60
9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業	61
(1) 生活困窮者自立支援センター事業	61
10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業	65
(1) 生活福祉資金貸付事務受託事業	65
11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業	67
(1) 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業	67
12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業	68
(1) 緊急援護たすけあい貸付事業	68
13. 子ども支援事業	69
(1) 学習支援事業	69

(2) ネットワーク支援事業	71
(3) その他の子ども支援事業	73
II. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分	75
(1) 歳末たすけあい運動事業	75
III. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分	76
1. 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業	76
(1) 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業	76
2. 滝野川東介護予防拠点施設事業	76
(2) 滝野川東介護予防拠点施設事業	76
3. 要介護認定調査事業	80
(1) 要介護認定調査事業	80
IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分	81
1. 自動販売機設置拠点事業	81
(1) 自動販売機設置拠点事業	81
V. その他	82
1. 地区担当	82
2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務	83
(1) 東京都共同募金北地区協力会	83
(2) 配分推せん委員会	84

## 令和3年度 事業報告

### I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分

#### 1. 法人運営事業サービス区分関連事業(事務事業費 27,512 千円、人件費 31,161 千円)

##### (1) 組織運営事業 (37,592 千円)

##### ① 会議・監査

##### ア. 理事会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第1回	6/4	10	12	A. 常務理事の選定について B. 令和2年度事業報告書・収入支出決算書および監査報告について C. 各規程の改正について D. 役員等賠償責任保険契約について E. 役員等就任時の年齢に関する申し合わせについて F. 評議員会への役員の推薦について G. 評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について H. 令和3年度定時評議員会の招集について
第2回	6/22	11	12	A. 会長の選定について B. 副会長の選定について C. 常務理事の選定について D. 顧問の選定について E. 評議員選任・解任委員会の選任について F. 給与規定および育児・介護休業規程の改正について
第3回	10/25	9	12	A. 令和3年度上半期の会長並びに常務理事の活動報告について B. 衛生委員会の発足に伴う各規程の制定について C. 職員就業規則等の改正について D. 主任主事・係長職昇任選考の実施方法の変更について
第4回	1/25 (書面決議)	12	12	A. 令和4年度事業・予算の方向性について(案) B. 給与規程および経理規程の改正と関係規程の制定について C. 評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について

第 5 回	3/18	11	12	A. 令和 4 年度事業計画・収支予算（案）について B. 令和 3 年度下半期の会長ならびに常務理事の活動報告について C. 各規程等の改正について D. 評議員会の招集について
-------	------	----	----	---

イ. 評議員会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第 1 回	6/22	19	26	A. 令和 2 年度事業報告書・収入支出決算書及び監査報告について B. 役員を選任について
第 2 回	3/30	23	26	A. 令和 4 年度事業計画・収支予算（案）について B. 各規程等の改正について C. 役員（理事）を選任について

ウ. 監査

開催日	付 議 内 容
5/25	A. 令和 2 年度事業執行状況について B. 令和 2 年度各会計収支決算について C. 令和 2 年度財産の状況について（令和 3 年 3 月 31 日現在）

② 会員及び会費の状況

会員区分	令和3年度			令和2年度			差異		
	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数 (件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)
個人会員	3,887	3,700	4,851,500	4,313	3,756	4,866,500	△426	△56	△15,000
団体会員	350	303	743,500	349	318	1,035,500	1	△15	△292,000
賛助会員	758	704	1,596,500	814	716	1,654,500	△56	△12	△58,000
合計	4,995	4,707	7,191,500	5,476	4,790	7,556,500	△481	△83	△365,000

③ 寄付金等の状況

ア. 寄付金

寄付区分	令和3年度		令和2年度		差異	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般寄付金	174	8,102,120	193	19,983,156	△19	△11,881,036
指定寄付金	69	3,458,462	27	1,823,417	42	1,635,045
子ども若者応援基金	41	2,329,909	0	0	41	2,329,909
介護予防事業のため	2	21,900	0	0	2	21,900
障害福祉事業のため	0	0	1	50,000	△1	△50,000
高齢者福祉のため	0	0	0	0	0	0
児童福祉のため	26	1,106,653	25	1,768,417	1	△661,764
地域福祉活動推進のため	0	0	0	0	0	0
災害関連のため	0	0	0	0	0	0
生活困窮者自立支援事業	0	0	1	5,000	△1	△5,000
生福資金受託事業	0	0	0	0	0	0
寄付物品	13	360,000	3	140,868	10	219,132
合計	256	11,920,582	223	21,947,441	33	△10,026,859

イ. 施設整備等寄付金

寄付区分	令和3年度		令和2年度		差異	
	件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)
施設整備等寄付金	1	499,500	0	0	1	499,500
合計	1	499,500	0	0	1	499,500

④ 地域福祉活動計画等推進委員会

第4次北区地域福祉活動計画策定を受け、令和2年度より北区地域福祉活動計画等推進委員会を開催し、計画推進のための各機関における役割分担や、進捗評価案等の検討を行った。

ア. 第4次北区地域福祉活動計画の概要

基本理念	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
基本目標Ⅰ	一人ひとりが輝くことのできる地域社会の実現		
基本目標Ⅱ	誰もが互いにささえあい、つながり、参加できる共生社会の実現		
基本目標Ⅲ	従来の枠を越えてさまざまな可能性が生まれる地域社会の実現		
策定日	令和元年9月	発行部数	計3,000部

イ. 社会福祉法人北区社会福祉協議会 北区地域福祉活動計画等推進委員会（推進委員会）

開催回数	日程	内容
第1回	9/8	<ul style="list-style-type: none"> <li>副委員長の互選について</li> <li>第4次北区地域福祉活動計画について</li> <li>第4次北区地域福祉活動計画アンケートについて</li> <li>地域福祉活動について各団体から報告 社会福祉法人さざんかの会 桐ヶ丘地区民生委員 北区で子どもの遊ぶ場をつくる会 NPO 法人子育てママ応援塾ほっこり~の</li> </ul>
第2回	3/28	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次北区地域福祉活動計画アンケートの結果報告について</li> <li>第4次北区地域福祉活動計画進捗評価について</li> </ul>

⑤ 内部研修

開催日	研修名
11/12	ハラスメント研修（管理者向け）
11/15, 11/19	ハラスメント研修（一般職員向け）
12/6	災害職員研修（令和元年度いわき市災害ボランティア派遣の振り返り）
2/15	災害職員研修（ボランティアセンターマニュアルの理解）



## ⑥ 外部研修参加（各業務別研修は除く）

(人)

開催日	研修名	実施機関	参加人数
5月	新任職員研修 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	3
6月	新任事務局長研修 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	1
6月	はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	2
6月	中堅職員重点テーマ強化研修	東京都社会福祉協議会	1
6月～7月	精神保健福祉研修(前期) ※動画配信	東京都立精神保健福祉センター	13
7/1	災害ボランティア養成講座運営者コース(初任者向け) ※オンライン	東京ボランティア・市民活動センター	3
7月	関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	全国社会福祉協議会	8
8月～11月	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】および【Ⅱ】	東京都福祉保健局	11
8/25	運営管理研修 ※オンライン	東京都社会福祉協議会	1
8月～10月	依存症支援者研修 ※動画配信	東京都立精神保健福祉センター	4
8～11月	職員のためのメンタルヘルス講習会 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	3
9月	会計実務研修(初級コース) ※動画配信	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
9/22	都内区市町村社協職員基礎研修 ※オンラインおよび動画配信	東京都社会福祉協議会	2
9月～12月	福祉職場に求められるリーダーシップのあり方研修 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	2
10月	会計実務研修(中級コース) ※動画配信	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
10/28・11/10	災害ボランティア養成講座運営者コース技術系編 ※オンライン	東京ボランティア・市民活動センター	2
10月～12月	精神保健福祉研修(後期) ※動画配信	東京都立精神保健福祉センター	20
11/3・14	ボランティアコーディネーション力検定(2級)	日本ボランティアコーディネーター協会	1
11/7・1/23	高次脳機能障害実践的アプローチ講習会	東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会	1
11月	年末調整セミナー	応研株式会社	1
12月	会計入門研修 ※動画配信	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
12/5	ボランティアコーディネーション力検定(3級)	日本ボランティアコーディネーター協会	4
12/2・9・16	コロナ禍での災害支援体験談～災害ボランティアセンター運営編～	一般社団法人ピースポート災害支援センター	1

1月～2月	部下・後輩を育てるコーチング研修	東京都社会福祉協議会	4
1/22	日本の地域福祉とファンドレイジング フォーラム	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会	1
2月	ファンドレイジング日本2022	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会	3
2/23・26・ 27	市民の参加と協働を進める多様なコー ディネーション実践研究集会2022※オ ンライン	認定NPO法人日本ボランティアコーデ イナー協会	3
2/27	地域福祉フォーラム東京カ×無限大	東京ボランティア・市民活動センター	5

⑦災害対応に関する事業

⑦-a 災害時相互支援協定に基づく活動

ア. 北区及びNP0 法人東京都北区市民活動推進機構との協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：5/13、7/9、8/6、8/25、10/8、11/5、12/8、3/8）

内容	北区災害ボランティア事業に関する協議
会場	北区NP0・ボランティアぷらざ／オンライン会議
参加者数(人)	5/13：18、7/9：6、8/6：8、8/25：8、10/8：8、11/15：7、12/8：7、3/8：7

イ. 城北ブロック協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：7/2、8/4、9/15、10/27、1/14、3/9）

内容	年間活動計画に関する協議等
会場	オンラインおよび文京区社会福祉協議会、荒川区社会福祉協議会
参加者数(人)	7/2：18、8/4：13、9/15：12、10/27：11、1/14：12、3/9：13

B. 城北ブロック災害連携講座の開催

内容	令和3年度は開催なし
----	------------

ウ. いわき市社協および前橋市社協との協定に基づく活動

開催日	内 容	参加人数(人)
1/21	三者協定役員顔合わせ会（オンライン）	5
2/7	三者協定職員交流会（オンライン）	5

⑦-b 防災関連会議、イベント等への参加

開催日	内 容	参加人数(人)
2/26	遠隔地を結ぶ災害ボランティアセンター運営訓練	1

⑦-c 訓練等の実施

開催日	内 容	備 考	参加人数(人)
6/8	災害新任職員研修（北社協備蓄品の確認、使用方法説明）	内部研修	4
12/6	職場内災害研修（いわき市災害派遣の振り返り）	内部研修	15
2/15	職場内災害研修（災害ボランティアセンターロールプレイ）	内部研修	20
3/11	シェイクアウト訓練	内部訓練	50

⑦-d スタッフ養成研修等への参加

実施日	内 容	参加者数 (人)
10/28・11/10	災害ボランティア養成講座運営者コース ～技術系専門ボランティア団体との連携を学ぶ～ ※オンライン	2
12/2・12/9・ 12/16	PBV 研修 (コロナ禍の災害支援体験談)	5
2/7	都内社協職連災害対策部会主催「社協 BCP 作成・評価・訓練のポイント」	9

(2) 調査・研究・企画・広報事業 (11,186千円)

① 広報紙「きたふくし」発行

年6回(奇数月15日)発行

各195,500部発行(カラー刷り)。区内全戸にポスティング。

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第160号	5/15	<p>【1面】 北社協の令和3年度の予算が決まりました</p> <p>【2面】 北社協の令和3年度の重点的な取組み 高校、大学などへの進学を応援します!! おちゃのこ祭祭2021について</p> <p>【3面】 「あんしん北」専門相談 北区内で働ける求人あります! ～福祉のしごと総合フェア 就職 説明・相談会～ 学習ボランティアに参加してみませんか? 小学生対象の学習ボランティア 友愛ホームサービス サポートスタッフ募集説明会</p> <p>【4面】 使用済み切手を集めています! ご寄付ありがとうございました</p>
第161号	7/15	<p>【1面】 北区社会福祉協議会 新しい役員・評議員が決まりました! 北社協 令和2年度の決算をご報告いたします</p> <p>【2面】 令和2年度事業報告 ～令和2年度の主な取り組みをご報告いたします～ ご寄付ありがとうございました</p>
第162号	9/15	<p>【1面】 赤い羽根共同募金</p> <p>【2面】 北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金 「プログラミングコース」協力ボランティア募集</p> <p>【3面】 老い支度 学習支援教室運営者募集</p> <p>【4面】 受験生チャレンジ ご寄付ありがとうございました</p>
第163号	11/15	<p>【1面】 北区歳末たすけあい・地域福祉募金 歳末たすけあい・地域福祉募金を財源とした助成利用団体の紹介</p> <p>【2面】 車イスの貸だし・紙おむつ支給 成年後見制度</p> <p>【3面】 第4次北区地域福祉活動計画のアンケートと地域の活動報告</p> <p>【4面】 「プログラミングチャレンジ」参加希望者説明会 福祉のしごと総合フェア～就職 説明・相談会～ 受験生チャレンジ ご寄付ありがとうございました</p>

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第164号	1/15	<p>【1面】 会長のご挨拶 応援してください！北区子ども・若者応援基金 小学生対象の学習支援教室運営に参加してみませんか？</p> <p>【2面】 歳末たすけあい募金助成事業 令和4年度 歳末たすけあい・地域福祉募金助成新規団体向け 説明会のご案内 「プログラミングチャレンジ」ボランティアスタッフ募集 おちゃのこ祭祭交流会を開催しました ご寄付ありがとうございました</p>
第165号	3/15	<p>【1面】 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい地域福祉募金へのご協力をありがとうございました！ ご協力いただいた募金の使い道</p> <p>【2面】 歳末たすけあい地域福祉募金の活用例 ～多様性を認め合える福祉学習の取り組み～ 子ども・若者応援基金へのご支援をありがとうございます！ 小学生の学習支援ボランティアをはじめませんか？</p> <p>【3面】 「今から考える、老い支度」連続講座を実施しました おちゃのこ祭祭2022参加団体募集説明会のお知らせ</p> <p>【4面】 役員・評議員就任のお知らせ 広報協力店のご紹介！ ご寄付ありがとうございました 株式会社なとり様よりご寄付賜りました</p>

## ② ホームページの運営管理

ホームページの積極的活用

ア. トップページバナーを利用した情報発信

イベント告知やきたふくし記事などを紹介。

イ. QRコードの活用

ホームページのアクセス向上をめざし、きたふくしやチラシにQRコードを掲載。

## ③ フェイスブックページ/インスタグラムの活用

コロナ禍での活動やその報告など、広く地域の方々向けに情報を発信。

民生委員児童委員協議会にてフェイスブックまとめ記事による月次報告を行った。

## ④ 北区社会福祉協議会各事業の機関紙

ア. 友愛ホームサービス機関紙「ゆうあい」（年4回）を発行。

イ. 地域ささえあい団体広報紙「ささえあい新聞」（年4回）を発行。

定期発行（偶数月15日）

⑤ 地域の行事参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の行事が中止となったため参加実績なし。

※地域福祉係の職員が参加した行事は、4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分  
関連事業のページを参照。(P38～)

※介護予防拠点施設(ふらっとほーむ)の職員が参加した行事は、Ⅲ. 1. 桐ヶ丘介護予防拠点  
施設事業、2. 滝野川東介護予防拠点施設事業のページを参照。(P76～)

⑥ 出前講座

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出前講座は開催せず。

※権利擁護センター「あんしん北」が行った出前講座については、7. (1) 権利擁護センター  
「あんしん北」のページを参照。(P49～)

**(3) 連絡調整事業 (2,410 千円)**

① 福祉のしごと総合フェア（北区から受託）

区内の福祉施設を中心とした福祉事業所による、就職合同相談・面接会。

北区、北社協、東京都福祉人材センター、ハローワーク王子の計4者共催で下記の内容で開催予定であったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第3回が中止となった。

開催回数	開催 予定日	会場	参加 事業所数 (法人)	参加者 (人)	採用者 (人)
第1回	6/25	北とぴあ飛鳥ホール	14	25	6
第2回	9/17	北とぴあ飛鳥ホール	13	23	3
第3回	1/21	北とぴあ飛鳥ホール	15※予定		
合計			42※予定含む		

令和3年度福祉のしごと総合フェアにて求人ブース出展をした法人(順不同)

※第3回に関しては求人ブース出展を予定していた法人を掲載。

第1回 (6/25)

法人名	事業種別
医療法人社団博栄会	高齢
東京ほくと医療生活協働組合	高齢
医療法人社団はなぶさ	高齢
株式会社ひばりケア	高齢
セントケア東京株式会社	高齢
京北健友会	高齢
アースサポート株式会社	高齢
東京福祉サービス株式会社	高齢
社会福祉法人新栄会	高齢
社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
社会福祉法人あゆみ	障がい
株式会社学研ココファン・ナーサリー	保育
株式会社ポピンズ	保育
社会福祉法人大和学園福祉会	保育



## 第2回(9/17)

法人名	事業種別
医療法人社団福寿会	高齢
株式会社やさしい手	高齢
株式会社ケア21	高齢
株式会社ケアネット・トキ	高齢
株式会社矢嶋商店	高齢
社会福祉法人晴山会	高齢
アサヒサンクリーン株式会社	高齢
社会福祉法人うらら	高齢
東京海上日動ベターライフサービス株式会社	高齢
社会福祉法人北区社会福祉事業団	高齢
社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
株式会社アイグラン	保育
社会福祉法人流山中央福祉会	保育

## 第3回(1/21)

法人名	事業種別
東京ほくと医療生活協同組合	高齢
合同会社ななは	高齢
宝ケア株式会社	高齢
株式会社日本ケアリンク	高齢
株式会社 You 優 Care	高齢
医療法人社団福寿会	高齢
株式会社ケア21	高齢
社会福祉法人晴山会	高齢
東京ほくと医療生活協同組合	高齢
東京福祉サービス株式会社	高齢
社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
特定非営利活動法人ピアサポート北	障がい
株式会社 fes パートナーズ	保育
社会福祉法人茂原高師保育園	保育

② 福祉事業者向け研修会(北区から受託)

福祉事業所の職員定着化支援のため、職場定着や職員のスキル向上のための研修会を行った。

※なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により第1回・第2回は中止とし、第6回はオンラインでの開催となった。

No.	研修名	開催日	会場	参加人数 (人)
1	相乗効果を実感！ チームワーク研修	7/14 ※予定	中止	
2	コミュニケーション研修	8/12 ※予定	中止	
3	その時、あなたは？利用者は？災害対応研修	10/21	岸町ふれあい館第5集会室	24
4	福祉職員のためのメンタルヘルス研修	11/18	岸町ふれあい館第5集会室	19
5	ビジネス文書研修	12/8	岸町ふれあい館第5集会室	21
6	コーチング研修	2/3	オンライン	17
合計				81
(カッコ内は令和2年度実績)				(98)

③ 実習生等の受入

No.	実習名	実施日	学校名・団体名
1	公的機関見学(実習)		受入なし
2	新任職員現場実習		受入なし
3	社会福祉士相談援助技術実習	8/4~10/6 (24日間)	東洋大学ライフデザイン学部 東洋大学社会学部 東京家政大学人文学部 立教大学コミュニティ福祉学部 より1名ずつ受入(計4名)
4	障がい者就労体験	1/19~1/25 1/26~2/1 (10日間)	就労支援以降事業所サンヴィレッジ川口センター、Job 庵北千住 より1名ずつ受入(計2名)

④ 社会福祉法人との連携

ア. 社会福祉法人部会

社会福祉法人による地域公益活動の取り組みを推進するため平成28年度に設置した社会福祉法人部会において、以下の取り組みを実施した。

#### A. 北区災害ネットワーク研修の開催

「災害時に備えた平時からの法人同士のつながりづくり」をテーマに、北区災害ネットワーク研修を実施した。防災を主な研究分野とする大学教授や、区内の社会福祉法人担当者4名を交えて平時の取り組みを話し合った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により研修の様子を動画で収録し、後日配信するという形態を取った。

開催予定日	開催内容	動画配信日	動画視聴回数 (回) (3/31時点)
2/9	基調講演、グループワーク、その他防災への備えや災害時における実際の動き、平時でのネットワークづくりなど	3/1~3/31	153

#### B. 社会福祉法人部会幹事会

今後の社会福祉法人部会をより円滑に運営していくため、以下のとおり幹事会を開催した。

開催日		内容
9/8	幹事会	社会福祉法人部会主催「北区災害ネットワーク研修」の開催について
10/11	幹事会	社会福祉法人部会主催「北区災害ネットワーク研修」の開催について (当日の役割分担等の確認)

#### イ. 桐ヶ丘サロンあかしやの支援

誰でもふらっと立ち寄れる居場所・交流・出会いの場として、(福)ドリームヴィ、(福)東京聖労院、北社協が協力して、住民主体で運営することを大切にしながら、地域支援ネットワーク事業として運営している。

※運営支援の詳細については2. 地域福祉事業サービス区分関連事業にあるCSWの活動報告を参照。(P18~)

(4) 岸町ふれあい館運営（北区から受託）（6,675 千円）

館内施設名	区分	年間合計
第1集会室（定員 21 人）	利用件数（件）	516
	利用人数（人）	3,635
	利用率（%）	49.6
和室（定員 12 人） 高齢者コーナー	利用件数（件）	155
	利用人数（人）	1,331
	利用率（%）	44.7

\* 集会室の定員は、テーブル使用時の人数

\* 集会室の貸出は午前、午後、夜間の3コマで、それぞれ利用1件とカウントする（1日最高計3件）  
ただし、和室は、午前・午後は高齢者コーナーとして使用しているため、一般貸出は夜間の1コマのみ

\* 利用率＝利用件数／総貸出可能コマ数

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるふれあい館運営への影響】

①一般貸出の際の使用制限等

緊急事態宣言下およびまん延防止等重点措置宣言下では一般貸出が制限された。

②北区・北社協による占有（用途・期間）

館内施設名	用途	期間
第2集会室（定員 45 人）	権利擁護センター・あんしん北事務局	令和3年4/1～ 現在※
第3集会室（定員 24 人）	北区くらしとしごと相談センター 就労支援コーナー（受託：パソナ）	令和3年4/1～ 現在※
第5集会室（定員 108 人）	北区役所庁用会議室（総務課管理）	令和2年9/1～ 現在※

※令和4年度も引き続き利用継続。

## (5) 基金運営事業 (809 千円)

### ① 子ども・若者応援基金

子どもたち、若者たちの育つ力をささえる地域を目指し、「体験・経験」の格差を埋める助成実施のための基金を令和3年4月に設立した。設立後は基金運営委員会を設置し、感染予防のため書面決議等を利用して情報の共有等を行った。

当初は設立イベント等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業や社会奉仕団体、これまで寄付を下さった個人、団体への説明を中心に活動した。

基金に係るデザイン協力として東京家政大学造形表現学科に協力を仰ぎ、賛同・制作いただいた学生の作品を審査により、基金のシンボルロゴ、紹介冊子のデザインとして採用した。

また、令和4年度には助成のモデル実施として、個人チャレンジ、プログラミングチャレンジの2種類の助成プログラムをモデル実施することとし、その準備を進めた。

プログラミングチャレンジについては区内外のIT経験者及び日本電気株式会社(NEC)の協力により40名以上のボランティアが集まり準備を進めた。

#### ア. 子ども若者応援基金運営委員会活動状況

No.	開催日	参加者数 (人)	内 容
1	4/1	-	北区社会福祉協議会子ども・若者応援基金設立
2	6/3	15	東京家政大学造形表現学科基金デザイン説明会
3	6/24	16	第1回基金運営委員会
4	9月	14	第2回基金運営委員会 書面決議
5	11/16	5	プログラミングチャレンジ助成参加希望者説明会1
6	12/14	18	第3回基金運営委員会 対面及び書面決議
7	12/17	4	プログラミングチャレンジ助成参加希望者説明会2
8	1/13	4	プログラミングチャレンジ助成参加希望者説明会3
9	1/18	6	東京家政大学基金デザイン感謝状贈呈式
10	2/9	38	プログラミングチャレンジボランティアスタッフ全体ミーティング
11	3/9	40	プログラミングチャレンジボランティアスタッフ全体ミーティング

#### イ. 子ども若者応援基金への指定寄付 (再掲)

令和3年度	件数	金額(円)
原資寄付	4	18,000
事業寄付	37	2,311,909

## 2. 地域福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費4,425千円、人件費34,107千円)

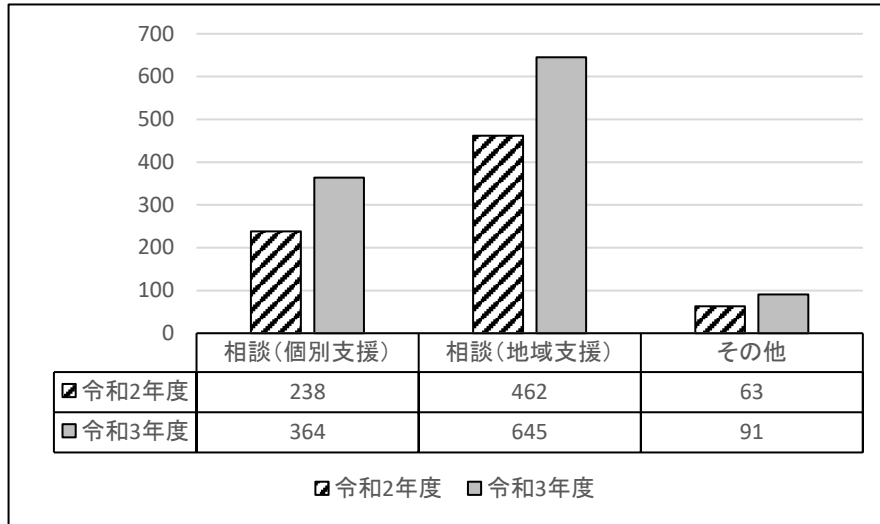
### (1) 地域福祉ネットワーク事業 (37,112千円)

#### ① コミュニティソーシャルワーク

##### (ア) 行動記録

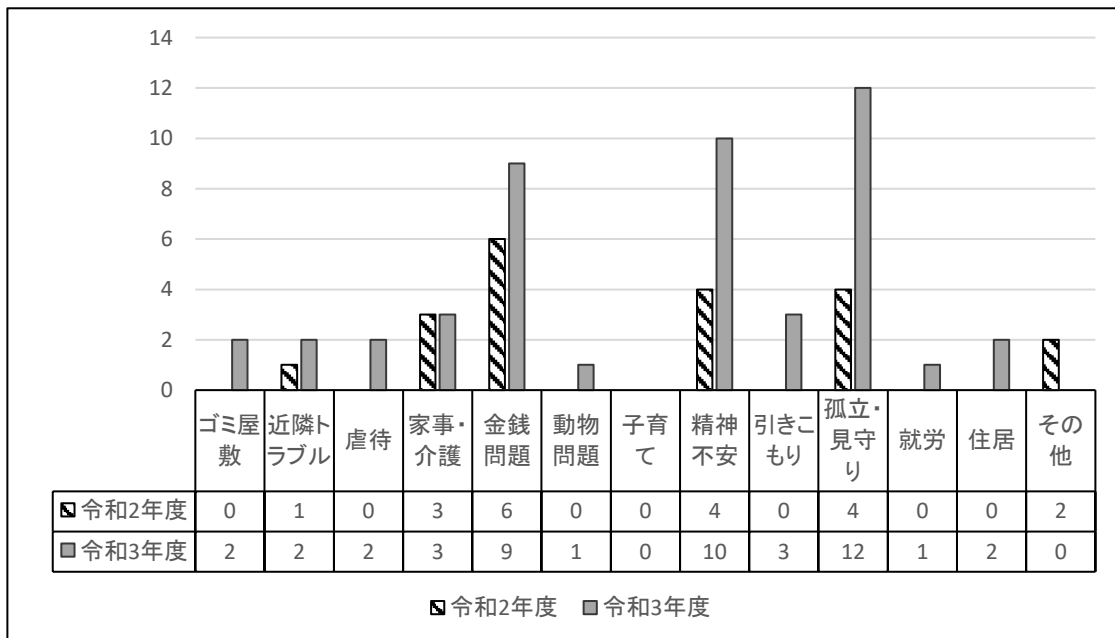
##### (A) 神谷・東十条地区の取り組み

##### (a) 相談援助に係る内訳別活動回数



相談援助に係る内訳別活動回数は昨年に比べて増加した。特に地域支援が180回程度増加しており、コロナ禍で活動を休止していた活動グループへの再開支援や新たな居場所活動の立ち上げ支援に注力したため増加したと考えられる。

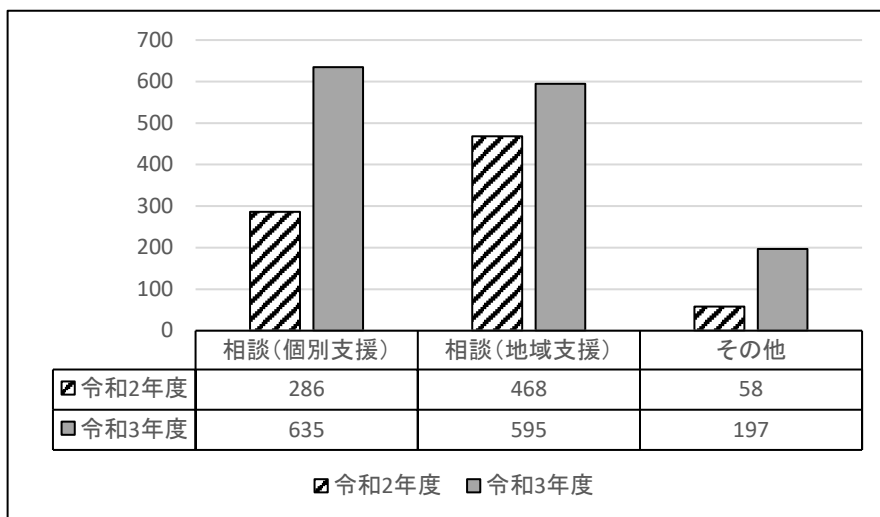
##### (b) 個別支援の内容内訳 (新規相談実数、重複あり)



全体的に昨年と比較し増加傾向にある。特に精神不安、孤立見守りに関する相談の増加が顕著であった。コロナ禍の中で少しずつ人との交流を再開し始めた時期に、地域活動のボランティアや参加者の方から「コロナ禍で最近顔を見かけなくなっていた人がいるので一緒に声掛けに行ってくれないか」といった、これまで関わっていた方への働きかけが多くみられたことも要因の一つと考えられる。

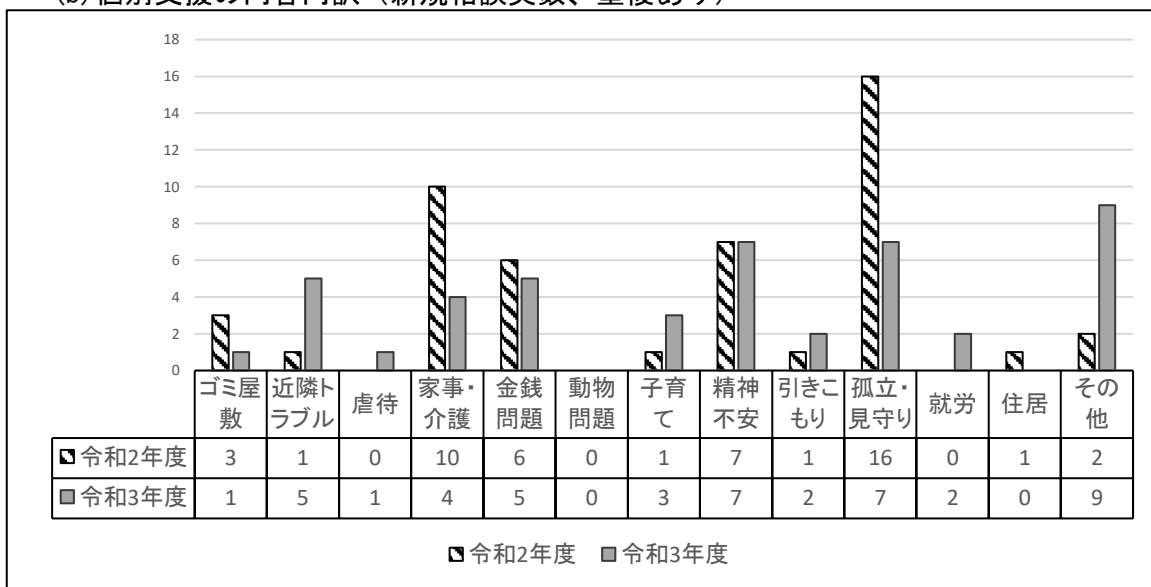
(B) 桐ヶ丘地区の取り組み

(a) 相談援助に係る内訳別活動回数



コロナ禍でも地域活動に取り組む工夫が進み、朝活等の定期的な活動への参加者が増えたことで活動時の相談や情報共有が増加し、個別支援の回数が増加した。また、今年度は桐ヶ丘地区のCSWが交代したこともあり、町会や地域の活動に積極的に参加するなど社会資源の把握や関係形成に取り組んだことや、Facebookやinstagramを活用した広報啓発を意識的に強化したことにより、地域支援の回数も全体的に増加した。

(b) 個別支援の内容内訳 (新規相談実数、重複あり)



複数年にまたがって継続支援しているケースも多くある中で、個別支援の新規件数は昨年と比較して減少した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により就労相談が増えたり、子ども支援団体への地域支援や子どもの居場所立ち上げの際に民生・児童委員との情報共有をするなかで、子ども・子育ての相談につながるなどの傾向がみられた。

(イ) 第4次北区地域福祉活動計画・重点項目に基づく活動

(A) 地域ごとの連携を進めるためのコーディネート機能の強化  
～「地域支援」における支援プロセスの可視化～

CSWの役割や機能に関する理解を促進するために「CSW活動報告書」を平成27年度より継続的に作成している。CSWの活動内容や必要性の理解を促進するためには、地域支援の計画やプロセスを「見える化」することを意識しながら戦略的に地域への働きかけをすることが必要だという認識のもと報告書作成に取り組んでいる。

令和3年度については、CSW共通の「地域支援の活動計画」と「評価指標」を作成し、抽象的であった「地域支援」のプロセスの可視化を図り、CSWの役割を明確にできるように取り組んだ。

(B) 分野ごとの連携を深め、分野・セクターを超えた新たな連携を進める

～コロナ禍でのICTを活用した連携の促進支援（社会福祉法人、地域住民、学生連携）～

社会福祉法人さざんかの会が運営する知的障がい者グループホーム「ファミリーららら」の入居者、近隣住民、東洋大学の学生が交流する場「わわわサロン」の活動を5年程前からスタートした。CSWとして社会福祉法人と近隣住民、また学生が連携できるように対話の場づくりから関わり始め、顔の見える関係づくりを進めてきた。

コロナ禍で学生が対面で活動に参加することが難しくなった中で、どのように連携を進めていくか施設側に働きかけ、オンラインを利用することで地域住民は対面、学生はオンラインで参加する「ハイブリット式の交流の場」をつくり、つながりを続けている。

(C) 住民同士がささえあう仕組みづくり

～居場所作りのなかで意識の変化を促す働きかけ（神谷フレンズの会 立上げ支援）～

令和3年度はコロナ禍で地域の交流の機会が少なくなり、ひきこもりによる高齢者の体力や意欲の低下などが社会問題化した。

神谷地区では、コロナ禍でも住民同士が交流し悩みを共有できる場所を作るべく、民生委員、町会と連携し空き店舗を活用した居場所づくりを開始し、8月に新たな居場所を開設した。立ち上げのプロセスでは、CSWが地域の集い場づくりに消極的な人たちに対して、地域住民の持つ強み（集まる場所がある、心配な人の見守りができている）を伝えることによって、住民自身が自分たちに何ができるか考えるように働きかけを行ったことで意識の変化がみられた。この居場所立ち上げ支援に関わることで自分たちに何ができるか自発的に考える住民が増えたことが、居場所ができたこと以上に大きな成果と考えられる。

②サロン縁じょい田端駅通り商店街（愛称：谷田橋サロン）の開催

(ア) 開催回数：45回

(イ) 参加人数：平均6人／1回 年間合計264人

(ウ) ボランティア、協力者数：平均2人／1回 年間合計81人

(エ) 運営について

運営委員会を設置し、月1回の委員会にて具体的な企画や運営等について検討した。緊急事態宣言中を除いて毎月第2金曜日、午後3時半～午後5時に開催した。



### 【コロナ禍の対応】

地域住民の孤立防止、問題の早期発見、担い手発掘を目的として北社協が田端駅通り商店街振興組合と共同設置し、地域住民や関係機関と共に運営。これまで、ボランティアグループによるカフェサロン、運営委員による子育てサロン、体操、ひきこもり当事者・家族の会等の企画を毎週月・水・金曜日に開催してきた。

令和3年度の緊急事態宣言中は、感染防止のために谷田橋サロンを全面休止としたが、感染者数が減少した7月には七夕企画を実施し、10月には7周年イベントを開催した。サロン休止期間も谷田橋サロンについて考える機会を設け、運営委員会メンバーや利用者からも「谷田橋サロンは居場所として開いていることに意味がある」という意見が出るなど再開に向けた意見交換を続けた。11月からはプログラムを実施しない交流のサロンのみを再開したが、オミクロン株の感染が拡大した1月からは、感染防止のために開場時間を午後のみ限定して実施した。

### ③志茂地区小地域福祉活動拠点（愛称：しもぞうハウス）の運営

地域住民の孤立防止、問題の早期発見、担い手発掘を目的として北社協が地域住民や関係機関と連携しながら運営している拠点である。主に「多世代共生および地域の交流・助け合い」を目的として、だれでも集える居場所やサロン、会議・勉強会等の活動を行う団体に対する貸出し事業を行っている。

(ア) 利用登録団体数：16団体

(イ) 開所日数：168日（団体への貸出日）

(ウ) 利用人数：年間合計1,298人（ボランティア：939人、来場者：359人）

(エ) 運営について

志茂地区で活動している「志茂ジェネ協議会」等の地域団体と連携して拠点運営に関する検討や開所日の来所者対応などを行ってきた。

令和3年度は、利用団体同士の交流会や大掃除会を初めて開催し、より使いやすい活動拠点にできるよう、団体間のネットワークづくりや拠点の整備などを行った。

また、読み聞かせのボランティア活動団体がコロナ禍で対面の活動が困難になったことから、拠点からオンラインでの読み聞かせを行うなど新しい取り組みも行った。

④第1層生活支援コーディネーター受託事業実施報告

(ア) 地域の社会資源把握に関することおよび生活支援の担い手養成、サービス開発に関する相談支援

No	地域（センター名）	団体名 （プロジェクト名）	支援日及び内容
1	みずべの苑	志茂ジェネ協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>志茂ジェネ会議 6/30、10/15</li> <li>運営支援会議 10/26</li> </ul>
		新たな社会資源の発掘 志茂地区のシェアハウスで 子ども食堂を開始する計画 に関する情報収集、助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>2/10（包括SCと現地訪問）</li> </ul>
2	赤羽北	赤北3さんミーティング	10/18(マルシェ再開・体操について打ち合わせ) 12/9(赤北マルシェ再開) 3/2(地域住民との打ち合わせ) 3/10(体操イベント開催)
3	昭和町・堀船	住んでよかった堀船プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>4/20（東福大研究事業インタビュー）</li> <li>9/9（移動販売に関する情報共有）</li> <li>1/29（研究成果ワールドカフェ）</li> </ul>
		上中里中央自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>7/8（子ども食堂の状況に関する情報提供）</li> </ul>
4	赤羽	しゅりる	<ul style="list-style-type: none"> <li>5/26（オンライン参加、打ち合わせ）</li> <li>6/30</li> <li>1/26（活動見学、コーディネート）</li> <li>東洋大学ライフデザイン学部との今後の学生参加に関する連絡調整</li> </ul>
		おれんじワンワンパトロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>12/1交流会</li> </ul>
5	豊島	ぱっと体操豊5	たいよう事業所と地域への働きかけ検討 屋外体操の立ち上げ、運営に関する助言 ぱっと体操プラス打合せ（11/8） ぱっと体操ふらす実施（11/26） 次回実施への打合せ（12/15） オンライン打合せ（3/2）
		豊5団地文化祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前準備（2/18）</li> <li>オープニングイベント参加（2/20）</li> </ul>
6	浮間	協議体づくりの準備	電話連絡で複数回 <ul style="list-style-type: none"> <li>協議体設置に関する働きかけ、助言</li> <li>1/18 浮間赤北合同打ち合わせ</li> <li>3/16 1回目浮間赤北地域会議</li> </ul>

7	桐ヶ丘	桐ヶ丘地区協議体	10/4 地域住民との懇談会開催 12/6 地域住民との懇談会開催 1/17 地域住民との懇談会開催 2/21 会議延期
8	長寿支援課	担い手づくり講演会	10/22、11/17、1/28 講演会打合せ 2/9 延期にともなう再打合せ 3/8 講師講演録画・打合せ
9	浮間・赤羽北	わくわくかんととの連携協議	10/21 協議体設立を見据えた障がい者支援事業所との情報交換
10	新町光陽苑	新たな体操教室開催	12/20 打合せ 1/13 第1回体操教室実施 2/10 第2回大雪警報発令のため中止 3/14 第2回体操教室実施 3/16 東田端地区体操教室実施
11	滝野川西	新たな地域活動創出 人と動物に関する地域課題 の共有と連携協議	1/19 事前打ち合わせ 2/1 関係者打合せ（保健所、活動団体）
12	滝野川はくちょう	新たな集い場の創出に関する 地域住民との打合せ	2/9 打合せ 3/10 町会との打ち合わせ 3/12 地域住民との打ち合わせ 3/30 イベント開催
13	王子光照苑	新たな集い場の創出に関する 情報収集	3/23 王子4丁目青空サロン視察

(イ) 地域包括ケア連絡会（2層協議体）及び地域ケア個別会議に関すること

<地域包括ケア連絡会>

【3圏域主催】

No.	地域	支援日(連絡会開催日)	役割
1	王子	2/21	・地域団体の活動報告会での運営支援
2	赤羽	10/27	・地元団体と大学生の交流会への参加
3	滝野川	10/20	・情報交換会の進行、コメント

【各高齢者あんしんセンター主催】

No.	地域	支援日(連絡会開催日)	役割
1	王子光照苑	12/17 地域ケア連絡会	グループワーク記録
2	桐ヶ丘やまぶき荘	12/17 桐ヶ丘地区法人連絡会	共同開催

<地域ケア個別会議>

今年度は参加なし

(ウ) 定例会議における情報交換、打合せ、検討

No.	会議名	開催日	内容
1	生活支援体制整備事業連絡会	5/20, 7/27, 10/26, 11/30, 1/25, 3/1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会の進行</li> <li>・各SCからの報告</li> <li>・評価基準プロジェクトチームについて</li> <li>・SC実務研修のふりかえり</li> </ul>
2	王子圏域見守りコーディネーター会議	5/18, 6/8, 7/13, 8/10, 9/14, 10/5, 11/9, 11/26, 12/14, 1/11, 1/25, 2/8, 3/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ、内容決め、地域状況の共有</li> <li>・ワクチン接種出張窓口での聞き取りについて</li> <li>・当日運営に向けた打ち合わせ</li> </ul>
3	赤羽圏域見守りコーディネーター会議	4/23, 4/27, 5/12, 5/28, 6/25, 6/28, 7/30, 8/27, 9/24, 10/6, 11/26, 12/24, 1/28, 2/25, 3/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画検討</li> <li>・東洋大学教授との連絡調整</li> <li>・渡辺ゼミへの企画説明・意見交換</li> <li>・東洋大学プレゼン資料作り</li> <li>・東洋大学教授 意見交換</li> <li>・事前オンラインミーティング</li> <li>・振り返り会での助言</li> <li>・次年度にむけた企画検討の助言</li> </ul>
4	滝野川圏域見守りコーディネーター会議	4/22, 5/6, 5/14, 6/24, 7/14, 7/27, 8/11, 8/31, 10/1, 10/7, 11/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ、内容決め、地域状況の共有</li> <li>・参加団体選定、課題設定のプロセス</li> <li>・振り返り会での助言</li> </ul>
5	実務者レベル打合せ	4/19, 6/21, 9/21, 10/20, 11/2/20, 2/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援体制整備連絡会の議題・運営についての長寿支援課と1層SCによる打合せ</li> </ul>
6	生活支援コーディネーター研修に関する打合わせ	7/20, 8/30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の研修内容について</li> <li>・講師打合せ、進行、役割分担など</li> </ul>

(エ) 社協からの働きかけによる取組み

仕様書の実施内容における、(A) 資源調査、(B) 資源開発、(C) ネットワーク構築、(D) ニーズと取組みのマッチング、(E) 協議体に関わる取組みとして実施

No.	取組み事業名	開催日	内容
1	ささえあい交流会	2/11(延期)	まん延防止等重点措置期間のため次年度へ延期 (C)
2	体操等の自主グループ交流会(ぶらっとほーむ主催)	9/6, 10, 11/5ほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前打合わせへの参加 (C)</li> <li>・交流会への参加 (C)</li> </ul>
3	地域のマイクロサポーター実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11/16</li> <li>・11/24</li> <li>・11/30</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝野川1丁目住み開き活動実態調査(聞き取り) (A)</li> <li>・志茂4丁目ご近所ささえあいマップづくり視察 (B)</li> <li>・滝野川6丁目自治会福祉活動ヒアリング (A)</li> </ul>

4	浮間地区のネットワーク構築支援	12/14、1/18	高齢、障がい、児童の分野を越えた近隣福祉事業所とのコアネットワークづくり検討 (C)
5	神谷・東十条地区のネットワーク構築	12/23	神谷・東十条城地区のサロン交流会の実施 (CSW事業との連携) (C・E)

(オ) 生活支援コーディネーター研修実施に関すること

No.	日にち	研修名・講師	内容
1	10/26 (再掲)	実務研修(講師:浦田愛)	活動記録の方法と活用について
2	12/13	東京都生活支援コーディネーター現任研修Ⅱ	桐ヶ丘地区の協議体づくりの事例報告と研修講師(事前調整、打合せ、当日運営)

(カ) 地域の社会資源把握に関すること

第2層生活支援コーディネーターが把握している地域特性や課題、取り組み状況等を再確認することを目的にヒアリングを実施

No.	日時	高齢者あんしんセンター名	方法
1	6/21	浮間	対面+オンライン
2	6/25	西が丘園	対面+オンライン
3	7/2	新町光陽苑	対面+オンライン
4	7/2	豊島	対面+オンライン
5	7/5	飛鳥晴山苑	対面+オンライン
6	7/5	みずべの苑	対面+オンライン
7	7/6	昭和町・堀船	対面+オンライン
8	7/7	赤羽	対面+オンライン
9	7/7	赤羽北	対面+オンライン
10	7/9	滝野川西	対面+オンライン
11	7/13	王子光照苑	対面+オンライン
12	7/19	桐ヶ丘やまぶき荘	対面+オンライン
13	7/21	東十条・神谷	対面+オンライン
14	7/21	十条	対面+オンライン
15	8/3	十条台	対面
16	8/12	滝野川はくちょう	対面

(キ) その他の取り組み

No.	名称	内容	役割
1	ヒアリングのための事前準備	・日程調整 ・ヒアリング内容の検討及びシート作成	事前準備

2	おたがいさま創成会議事前準備	・資料作成 ・1/17事前打合わせ	事前準備
3	隣接区との生活支援体制整備に関する情報交換準備	・昭和町・堀船、新町光陽苑包括と荒川区尾久地区包括関係者等との情報交換の開催 9/6（昭和町区民センター）および事前調整 ・滝野川西、飛鳥晴山苑包括と豊島区西巢鴨地区SC、CSWとの情報交換（2/2）	両区関係者の調整、コーディネート
4	東京都理学療法士会との連携準備	・区内の理学療法士と区内3圏域の介護予防活動の連携に関する協議（9/29ほか複数回連絡調整） ・10/4 新町光陽苑での打合せ ・10/15 豊島包括打合せ（再掲） ・11/24 新町光陽苑での打合せ ・12/15 豊島包括打合せ（再掲）	3圏域へのコーディネート
5	生活支援コーディネーター自己評価指標づくりプロジェクト	・生活支援コーディネーターの役割、目標設定に関する自己評価づくりの準備 ・10/8 第1回検討会 ・10/29 第2回検討会 ・11/17 第3回検討会 ・1/11 第4回検討会 ・2/22 作成打合せ（新町） ・2/24 作成打合せ（赤羽、十条）	プロジェクトメンバーとの連絡、資料作成 ・3地区のSCによるモデル作成の支援

(ク) その他、研修、会議等への参加

No.	研修、会議名	開催日
1	生活支援体制整備事業に関する情報交換会（東京都）	5/18、2/28
2	おたがいさま地域創生会議	7/14、3/24
3	城北ブロック社協地域福祉担当情報交換会（各区の生活支援コーディネーターの体制や状況など）	8/5、9/30、1/31
4	東京都生活支援コーディネーター現任者研修（講師）	9/17
5	東京ふれあい医療生協まちづくり委員会	10/11、11/8
6	介護予防事業者連絡会	10/14、12/10
7	東京都生協連北区まちづくり定例会	10/19、2/8
8	堀船地区円卓会議	10/27
9	赤北マルシェ（体操、販売、交流など）	12/9、12/22（反省会）
9	豊5ちいきづくり会議	12/8、1/19（東洋大フードドライブ打合せ）
10	介護予防講演会出席（大淵先生）	1/18
11	東都生協とのキッチンカー活用に関する打合せ	2/7
12	東京都生協連タウンミーティング出席（コメンテーター）	2/16

## (2) 福祉教育・啓発事業 (1,394 千円)

本事業は、係横断の職員で編成する福祉学習プロジェクトチームが担当した。

### ① 事業内容

- ア. 学校での福祉学習プログラムの実施
- イ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出
- ウ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施
- エ. 福祉学習についての広報
- オ. 福祉学習プログラム開発等に係ること
- カ. 市民学習コーディネーター推進委員会への参加

### ② 実績

#### ア. 学校での福祉学習プログラムの実施

プログラムの実施にあたっては、各担当教員等にヒアリングし、希望に合ったプログラムを作成、実施している。

No.	実施校	対象 (年生)	プログラム名	講師など	開催日	参加者 数 (人)
1	桐ヶ丘郷小学校	3	高齢者の理解	桐ヶ丘やまぶき荘高齢者 あんしんセンター 桐ヶ丘地区住民	9/14	85
2	飛鳥高校	1	高齢者の理解（車いす体験）	北社協職員	1/12	24
		1	視覚障がい者の理解	NPO 法人ことばの道案内	3/9	24
3	西ヶ原小学校	4	視覚障がい者の理解	北社協職員	12/15	64
4	堀船小学校	5	肢体不自由児者の理解	自立生活センター北 代表 小田利政さん	2/25	51
5	谷端小学校	3	視覚障がいの理解	盲導犬ユーザー 北社協職員	3/3	37

#### イ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出

No.	実施校	対象 (年生)	プログラム名	内容	貸出日
1	谷端小学校	5	高齢者の理解	高齢者体験グッズ等 の貸出	3/4

#### ウ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施

町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、福祉体験プログラム等を実施しているが、令和3年度は実施なし。

## エ. 福祉学習についての広報

No.	広報の方法	内容
1	フェイスブックの掲載	福祉学習プログラム実施の報告。(3回)
2	きたふくし掲載	福祉学習プログラムの実施概要を掲載。(1回)
3	ハンドブック新規作成	事業目的、実施例、申請の方法等を記載したハンドブックを新たに作成。来年度以降事業説明の際に活用予定。
4	ホームページ 福祉学習コーナーの一新	新たに作成したハンドブックや昨年度より作成している映像ツールをホームページからでも見るように一新した。

## オ. 福祉学習プログラム開発等に係ること

コロナ禍でも福祉学習を進められるように、映像ツールを開発した。  
また、広く発信できるようにホームページ上でも啓発に取り組んだ。

No.	テーマ	内容
1	車いすの利用方法	令和2年度より創造集団に委託し作成 社協ホームページでも動画を公開し周知している。 (令和3年度：谷端小学校、飛鳥高校プログラム実施時利用)
2	ユニバーサルデザインの理解	令和2年度より創造集団に委託し作成 社協ホームページでも動画を公開し周知している。 (令和3年度：飛鳥高校プログラム実施時利用)
3	視覚障がい者の理解	小中学校からの依頼が多いプログラム内容でもある「視覚障がい者の理解」の動画を作成 令和4年度以降活用予定
4	募金について	募金についての理解を啓発するためのツールとして作成 歳末助け合い募金地域福祉活動助成を活用しているささえあい団体にも協力してもらっている 令和4年度以降活用予定

## カ. 市民学習コーディネーター推進委員会への参加 \*協働研究地区として参加

東京ボランティア・市民活動センターが設置する「市民学習コーディネーター推進委員会」に、協働研究地区として参加し、市民学習コーディネーターハンドブックの作成に協力した。

No.	内容	方法	開催日
1	市民学習コーディネーターハンドブックのコンセプトについて検討	オンライン会議	6/11
2	市民学習コーディネーターハンドブックの構成について検討	オンライン会議	8/6
3	市民学習コーディネーターハンドブック作成について検討	オンライン会議	3/1



(参考) 学校で実施している福祉学習プログラムの例 ※実施校の希望により内容変更あり

No.	内 容	プログラム
1	視覚障がい ・見え方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（アイマスク体験・ユニバーサルデザイン・スポーツ・ゲーム）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、グループワーク、まとめ（感想文）
2	補助犬の理解	当事者からの講話、補助犬法について（補助犬ユーザーってどんな人）、補助犬とのかかわり方、まとめ
3	肢体不自由の理解	車イス体験及び感想、当事者からの講話、まとめ
4	聴覚障がい ・聞こえ方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（伝言ゲーム・DVD鑑賞など）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、まとめ（感想文）
5	高齢者の理解	高齢者疑似体験（聴力、視力、感覚の鈍さなど）、認知症サポーター養成講座の実施（北区高齢者あんしんセンターと共同）
6	地域ネットワーク	社協紹介 DVD 上映、パネルディスカッション（民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司など地域の支援者の役割を事例にて紹介）、まとめ
7	ユニバーサルデザイン、ゆるスポーツ、ユニバーサルスポーツ	ユニバーサルデザイングッズ紹介・体験、ユニバーサルスポーツ紹介・体験（サウンドテーブルテニス）、まとめ
8	地域課題の理解	民生委員・児童委員講話、グループワーク（皆が住みやすいまちってどんなまちだろう）、まとめ
9	多様性の理解	宝物交換ゲームを通して様々な価値観を知る（自分の宝物を友達に紹介する） グループワーク（みんなの宝物は何か、みんなが仲良く暮らすにはどうしたらよいか）、まとめ
10	募金について	寄付や募金とは何か、さまざまな種類、使われ方など

(3) 援護事業 (25千円)

① 災害見舞金支給事業

区内在住の火災等の被災者に対し、見舞金を支給する。

区 分	世帯等	(円)	(件)	(円)
		単価	件 数	金 額
火災見舞金	一般	5,000	1	5,000
	単身	3,000	5	15,000
	死亡	5,000	0	0
	小計		6	20,000
水害見舞金	一般	5,000	0	0
	単身	3,000	0	0
	小計		0	0
水損見舞金	一般	5,000	1	5,000
	単身	3,000	0	0
	小計		1	5,000
総 計			7	25,000

### 3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費16,531千円、人件費11,842千円)

#### (1) 友愛ホームサービス事業

(19,447千円)

##### ①友愛ホームサービス

地域の高齢者や障がいのある方などを対象に日常生活の簡単な手伝いをする住民参加型の有償在宅福祉サービスである。地域の方がサポートスタッフとして登録し、指定の研修を受講した後、家事や外出付き添いなどのサービスを行う。

【利用料】 900円/時間 【年会費】 1,500円

##### ア. 会員登録状況

##### A. サポートスタッフ (年代別内訳) (人)

区分	~30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	昨年度	差異
男性	0	4	3	5	9	3	24	25	△ 1
女性	6	11	32	44	56	10	159	152	7
合計	6	15	35	49	65	13	183	177	6
昨年度	6	20	34	43	60	14	177		
差異	0	△ 5	1	6	5	△ 1	6		

##### B. - (a) 利用会員 (年代別内訳) (人)

区分	~30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	合計	昨年度	差異
男性	0	1	4	12	22	26	10	75	102	△ 27
女性	1	4	4	9	53	95	34	200	247	△ 47
合計	1	5	8	21	75	121	44	275	349	△ 74
昨年度	1	4	12	23	95	163	51	349		
差異	0	1	△ 4	△ 2	△ 20	△ 42	△ 7	△ 74		

##### B. - (b) 利用会員 (対象別内訳)

区分	高齢者	障がい			その他	合計
		身体	知的	精神		
人数	252	8	3	6	6	275
昨年度	307	12	1	9	20	349
差異	△ 55	△ 4	2	△ 3	△ 14	△ 74

##### イ. 会員活動状況

##### A. 年間活動状況

区 分		本年度	昨年度	差異
サポートスタッフ	年間活動数 (人)	750	790	△ 40
利用会員	新規利用数 (世帯)	77	138	△ 61
	年間利用数 (世帯)	1,463	1,619	△ 156
利用延べ回数 (回)		6,451	4,687	1,764
活動 (利用) 時間 (時間)		6005:00	6353:00	△ 348:00

##### B. 年間収支状況

区 分	本年度	昨年度	差異
年会費 (円)	534,000	625,500	△ 91,500
うち高齢者生活援助サービス (円)	312,000	337,500	△ 25,500
利用料等 (円)	5,438,072	5,728,670	△ 290,598
うち高齢者生活援助サービス (円)	2,081,200	2,500,550	△ 419,350
費用弁償等 (円)	5,438,072	5,728,670	△ 290,598

※高齢者生活援助サービス・・・介護認定を受けており且つ住民税の課税状況が非課税または生活保護世帯の利用会員を対象に年会費・利用料の一部を区が補助する制度

C. 年間入会状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
新規入会(人)	10	14	8	17	1	0	1	4	16	2	1	3	77	138	△ 61
うち高齢者生活援助サービス対象者(人)	4	3	9	7	0	0	1	1	7	1	1	0	34		

D. 年間利用状況 ※データ算出方法に変更があったため、昨年度から項目の変更がある。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均	昨年度	差異
利用世帯数	132	128	131	132	117	108	126	124	125	116	109	115	1,463	1,624	△328
延べ活動数	390	554	696	429	551	604	609	595	603	503	403	514	6,451	4,687	1,764
総活動・利用時間	541:00	544:00	579:00	544:00	489:00	517:00	491:00	525:00	538:00	419:00	348:00	470:00	6005:00	6353:00	△348:00
サポートスタッフ活動人数(人)	64	64	64	65	63	56	63	65	63	62	60	61	750	790	△ 40

E. 活動内容(重複あり) ※データ算出方法に変更があったため、昨年度の実績と数字が変わっている場合がある。

内容	件数(件)	構成比(%)	昨年度(件)	差異(件)
外出付添	302	4.4	255	47
通院付添	339	5.0	221	118
入退院支援	1	0.0	3	△ 2
入院中生活支援	2	0.0	18	△ 16
家事援助	5,754	84.5	4,179	1,575
部屋の掃除	2,727			
部屋の片づけ	790			
洗濯・縫物	365			
食事の支度	330			
買い物代行	1,493			
薬取り代行	49			
その他(草取り、大掃除、引っ越しの手伝いなど)	414	6.1	238	176
合計	6,812	100.0	4,914	1,898

ウ. 研修会・交流会

研修会・交流会名	内 容	開催日	参加者数
サポートスタッフ養成研修	◇北区社会福祉協議会と友愛ホームサービス ◇高齢者の理解と支援	7月5日	18名
	◇車いす研修 ◇リスクマネジメント ◇記録と報告	11月8日	
サポートスタッフステップアップ研修	◇「知っておきたい! 高齢者・障がい者の消費者トラブルと対処法」	1月31日 →中止	
サポートスタッフ交流会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		

エ. 運営委員会

開催日	議 題	委員数 (人)
3/10	(1) 委員長／副委員長の互選	10
	(2) 事業報告 ①令和2年度事業報告 ②令和3年度現況報告	
	(3) 今後の運営委員会について	
	(4) その他	

オ. 職員研修・連絡会

研修名	開催日
住民参加型たすけあい活動部会コーディネーター学習会	
科目3「対人援助技術の基本と実際」	7/20
科目4「ケーススタディとケース会議」	9/28
時事研修 科目5「制度のはざまをつなぐ支援～利用者の生きづらさについて学ぶ～」	10/27
情報交換会	1/31
城北ブロック在宅福祉サービス事業連絡会	12/21
東京都在宅福祉サービス事業連絡会 第1回連絡協議会	2/18

カ. 新型コロナウイルス感染症等の対応

月日	国の動向	友愛ホームサービス
4/12	まん延防止等重点措置の適用開始	
4/25	3回目の緊急事態宣言 4/25～5/11まで	全利用会員とサポートスタッフへ文書送付 双方で了承の得られる支援であれば継続 新規受け入れ休止
5/6	緊急事態宣言の延長決定 5/31まで	上記対応を継続
5/26	緊急事態宣言の再延長決定 6/20まで	上記対応を継続
6/21	まん延防止等重点措置の適用開始	新規受け入れ再開
7/8	4回目の緊急事態宣言 8/22まで	全利用会員とサポートスタッフへ文書送付 感染対策を十分に行い、活動を継続 新規受け入れ停止 ※急ぎ支援が必要なもののみ調整
8/17	緊急事態宣言の延長決定 8/31まで	上記対応を継続
8/27	緊急事態宣言の再延長決定 9/12まで	上記対応を継続
9/9	緊急事態宣言の再々延長決定 9/30まで	上記対応を継続
10/1	緊急事態宣言・まん延防止等重点措置 一斉解除	新規受け入れ再開
1/21	まん延防止等重点措置の適用開始 2/20まで	全利用会員とサポートスタッフへコロナ禍における活動の注意喚起文書送付
2/10	まん延防止等重点措置の延長決定 3/6まで	
3/7	まん延防止等重点措置の再延長決定 3/21まで	
3/22	まん延防止等重点措置の解除	

②ちょこっとささえ愛サービス事業

地域の高齢者の方や障がいのある方などを対象に30分以内でできる、単発的で簡単な手伝いをする住民参加型の有償在宅福祉サービスである。地域の方がサポートスタッフとして登録し行う。

【利用料】 500円/30分 【年会費】 なし

ア. 会員登録状況

A. ちょこっとスタッフ（年代別内訳）（人）

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	昨年度	差異
男性	0	0	0	1	3	6	8	1	19	20	△ 1
女性	0	0	1	2	18	13	12	1	47	53	△ 6
合計	0	0	1	3	21	19	20	2	66	73	△ 7

B. 年間利用状況（件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
利用	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	10	28	△ 18

※同一利用者からの複数回利用あり

C. 提供したサービス（重複あり）（件）

内容	件数(件)	構成比(%)	昨年度	差異
電球・蛍光灯の取替え	0	0.0%	3	△ 3
軽易な家具の移動	2	20.0%	5	△ 3
体調不良時の買い物代行	2	20.0%	16	△ 14
かんたんな家具の組み立て	0	0.0%	2	△ 2
かんたんな家電の配線	0	0.0%	1	△ 1
他サービス利用までのつなぎ等の理由による掃除	2	20.0%	11	△ 9
その他（ごみ捨て、不用品整理、退院支援など）	4	40.0%	12	△ 8
合計	10	100.0%	50	△ 40

(2) その他の在宅福祉事業（8,926千円）

① おべんとご一緒サービス

地域で暮らす高齢者の孤立、福祉課題の早期発見と地域福祉の担い手作りを目的とし、ボランティアがお弁当を持って利用者宅に伺い、昼食を一緒にとりながら話し相手をする。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業実施を休止した。利用者、ボランティア等へのヒアリング等を通して、新たな孤立予防に対する社会資源の開発を検討する。

ア. 利用者数：4人

イ. 登録ボランティア数：49人

ウ. 活動実績：0回

② おべんとご一緒サロン（豊島高齢者あんしんセンターとの共催）

豊島5丁目団地わくわくステーションにて高齢者を対象としたお食事会を毎月2回開催

協力団体：傾聴クラブさんさん、傾聴クラブ「ハッピー」

令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動を休止した。

③ ハンディキャブ運行事業

ア. 事業内容

A. ハンディキャブ（ワゴン車2台・軽ワゴン車1台）の運行及び貸出し

イ. 実績

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、公共交通機関の利用を控える方が多く、本事業の利用件数が増加した。

A. 年間利用件数

区分	令和3年度		令和2年度	
	合計	月平均	合計	月平均
利用件数（件）	113	9.4	110	9.2
走行距離（km）	6,088	507	7,295	608

B. ハンディキャブ会員

財源確保のため、本事業の独自会員制度を設置し利用者(会員) から会費を徴収

年会費 (円)	令和3年度		令和2年度	
	利用会員数 (人)	金額 (円)	利用会員数 (人)	金額 (円)
2,000	26	52,000	24	48,000

④ 車イス貸出事業

ア. 事業内容

- A. 車イスの無料貸出 (1年間を限度)
- B. 地域の拠点での貸出し (ぷらっとほーむ)

イ. 実績

A. 保有台数 46 台 (令和4年3月31日現在)

ウ. 年間貸出件数 126 (件)

区分	令和3年度		令和2年度	
	合計	平均/月	合計	平均/月
予約件数	139	11.6	116	9.7
貸出件数	126	10.5	105	8.8
貸出台数	133	11.1	124	10.3

⑤ 車イスステーション事業

身近な生活圏で無料で車いすを借りることができるように、歳末たすけあい募金を財源として車イスを購入し、町会自治会や公共施設、商店等を「車イスステーション」として区民の利便性向上に努めている。

ア. 拠点数と台数 (台)

No.	区 分	令和3年度		令和2年度	
		設置箇所 数	車イス台数	設置箇所 数	車イス台数
1	町会自治会	138	228	140	230
2	地域振興室	18	27	18	28
3	福祉施設等	10	16	11	17
4	その他(商店等)	6	8	6	7
5	高齢者あんしんセンター	12	30	12	29
	合 計	184	309	187	311

イ. 車イスステーションへの訪問

車イスのメンテナンスや利用状況の確認を行いながら、地域の福祉課題の発掘や地域情報収集を行う。

No.	訪問地域	訪問日
1	桐ヶ丘・赤羽台	4/22
2	豊島・堀船	9/16
3	滝野川・西ヶ原	9/29
4	西が丘・赤羽	10/22
5	王子	11/10
6	田端	12/7
7	東十条・神谷	9/29
8	志茂	3/9
9	十条	3/16
10	東田端・西ヶ原・中里	3/29
11	東十条・神谷	3/31

⑥ 紙おむつ支給事業

介護保険の認定を受けた方で、要支援・要介護度1～3の方および急遽入院され常時紙おむつが必要な方に対して3か月を限度に、歳末たすけあい募金を財源として紙おむつを支給する。

ア. 支給件数 (件)

	令和3年度	令和2年度
件数	381	335

イ. 支給枚数 (枚)

おむつタイプ	令和3年度	令和2年度
テープパンツ型	3,271	3,619
はくパンツ型	62,416	54,736
尿取りパッド	60,120	56,400
合計	125,807	114,755



⑦財産保全サービス事業

高齢者、知的障がい者、精神障がい者のひとり暮らし世帯または対象者のみの世帯の方が安心して生活を続けていけるよう、保有する財産（預金通帳等）を金融機関の貸金庫に保管するサービス（年間利用料12,000円）を実施する。

（ア）相談援助実績 （件）

項目		件数	内訳			
			高齢	知的	精神	その他
a.	問い合わせ件数	0	0	0	0	0
b.	初回相談件数	2	2	0	0	0
c.	相談援助件数	30	0	0	30	0
合計（件数）		32	2	0	30	0
相談援助時間（分）		260	25	0	235	0

（イ）契約実績 （件）

項目		件数	内訳			
			高齢	知的	精神	その他
a.	今年度当初契約件数	0	0	0	0	0
b.	新規契約件数	0	0	0	0	0
c.	解約件数	0	0	0	0	0
合計（件数）		0	0	0	0	0

#### 4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業

(事務事業費1,625千円、人件費1,594千円)

##### (1) 地域福祉・ボランティア活動推進事業 (3,219千円)

###### ① 地域ささえあい活動団体助成 詳細は「5. 助成事業」に別掲

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により地域ささえあい団体の活動に大きく影響があった1年となった。昨年度と比べ、申請団体数が4団体減少し、助成額も94,500円減となった。感染拡大のために活動休止となったり助成金を計画通り利用できなかった団体も9団体あり、活動再開のめどが立たず解散した団体も1団体あった。

前期	令和3年度		令和2年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
・地域福祉活動助成	71	3,182,500	75	3,277,000
・障がい当事者団体助成	15	750,000	15	750,000
・団体立ち上げ助成	0	0	0	0
・夢ひろげ助成	0	0	0	0
合計	86	3,932,500	90	4,027,000

###### ② 地域ささえあい活動団体支援

地域活動推進員4人(内2人は神谷・東十条地域、桐ヶ丘地域アシスタントワーカーを兼務)が登録団体(北区地域ささえあい活動団体)への支援などを行った。

##### ア. 地域ささえあい活動団体の現況(登録団体一覧)

No.	団体名	活動エリア	活動内容
1	北区おはなしの会	王子	おはなし会・講座等
2	上五のぞみ会	王子	食事会・配食
3	NPO法人でんでん子ども応援隊	王子	学習支援、生涯学習、子育て支援、子ども支援
4	ボランティア ひまわりクラブ	王子	訪問美容など
5	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	王子	子どもの居場所・プレーパーク
6	ほのぼの会	王子	食事会・年に一度は外出・健康体操・健康チェック
7	英語にふれよう	王子	親子で楽しく英語に親しむ
8	てとての会	王子	講座・勉強会
9	こころとからだの元気Lab.	王子	アロマセラピー、ハンドタッチング、ボランティア
10	傾聴クラブ こあら	王子	傾聴を基本に地域の方々とのコミュニケーション
11	デフさくらの会	王子	高齢聴覚障がい者交流会
12	王子狐のミュージカルの会	王子	月1回稽古、地域行事、合唱祭、狐の行列への参加
13	北区介護予防リーダーの会	王子	あんしんセンター支援・「おたっしや21」等開催
14	傾聴クラブ あすか	王子	傾聴
15	傾聴クラブ さんさん	王子	傾聴ボランティア活動・勉強会・定例会
16	若者の性と生を北区から考える会 Greenheart	王子	自主グループ内勉強会、高校・大学生関係者向講座
17	NPO法人 子育てママ応援塾「ほっこり〜の」	王子	子育てママと「社会」をつなぐ、地域共助の拠点
18	点訳サークル六星会(福祉センタークラス)	王子	広報誌の点訳等
19	すまい・地域づくりの会	王子	地域で最期まで生活し続けられる地域すまいづくり
20	ゆったりくらぶ	王子	使用済切手を整理しながらコミュニケーションを図る
21	点訳グループ六星会	王子	北視協・春光・都障害者スポーツセンター他の点訳
22	ボランティアグループ アミークス	王子	袋物・カード入れ毛糸小物等生活雑貨を作ってます
23	ボランティアグループ こだま	王子	楽しく手芸を作り販売しボランティアに役立ってます
24	NPO法人 銀の鈴交流ネット	王子	ふれあい訪問活動
25	傾聴クラブ レインボー	王子	高齢者対象傾聴
26	ほっとカフェ ひまわり	王子	喫茶・血圧・体脂肪測定他に体操教室の開催・手芸
27	きらきら太極拳	王子	太極拳

28	傾聴クラブ「ハッピー」	王子	傾聴
29	豊島のうたごえひろば	王子	うたごえサロン
30	北区子育て光ママの会2014	王子	子育て中親の交流・講座 月1回の例会
31	NPO法人 スマイリーサン	王子	障がい児者の為のサロン・プール・運動会・講習会
32	カモミールの会	王子	アロマでコミュニケーション
33	飛鳥山太極拳愛好会	王子	毎朝ストレッチ体操・太極拳。地域の活動に参加
34	豊島健康サロン	王子	健康麻雀、食事会、交流
35	井戸端げんきのわ	王子	高齢・障がい者・関係者向け出張講座
36	子育て教室	王子	医師歯科医・臨床心理士などによる連続講座の実施
37	傾聴クラブ ひびき	王子	傾聴
38	子ども食堂「ののほな」	王子	子ども食堂・学習支援
39	北区肢体不自由児者父母の会	王子	学習会、親睦会、施設見学、啓発活動等
40	傾聴クラブ てんてん	王子	傾聴ボランティア
41	りぷりんと北・つみき	王子	絵本読み聞かせを通しての社会参加、多世代交流
42	ツインズエイド	王子	多胎児の家族への支援活動
43	ツインズタイム	王子	多胎家族の仲間作り(お話し会、食事会、講演会他)
44	めんどりサロン 子ども食堂	王子	子ども食堂
45	当事者の会 はるじおん	王子	作品集「雑草魂」発行
46	名主の滝さくら会	王子	筋トレ、ストレッチ、お口体操、コグニサイズ等
47	北区コミュニケーション・モア	王子	セミナー、親睦会、手話学習など
48	ロコクラブ	王子	子どもたちの宿題や自主学習を支援する場所です
49	特定非営利活動法人 アドリブ	王子	北区の歴史・昔話に因んだ紙芝居を作成します。
50	東京北卓球バレー同好会	王子	ユニバーサルスポーツ卓球バレーを楽しみ交流する
51	東京北区ケンハモサークル	王子	鍵盤ハーモニカで様々な曲を演奏します
52	りぷりんと北・あおいとり	王子	絵本読み聞かせ活動
53	ファンキーモンキーズ	王子	ダンス好きなキッズが楽しくダンスをしています
54	北区さわやかポニークラブ	王子	乗馬による身体的・知的障害の機能向上と回復
55	ママカフェ ひろば	王子	妊婦さん中心に相談受付・育児の伝承・ヨガ・講座
56	混声合唱団 SAKURA	王子	月4回指導者の元で合唱練習、出張演奏、合唱祭等
57	NPO・ACT北区たすけあいワーカーズひよこ	王子	食事会・絵手紙講座・手芸の会
58	脳トレを楽しむ会	王子	脳トレ 認知症予防
59	親子サークル スキップ	王子	親子でバレエストレッチ
60	unfeuilleあんふいーゆ	王子	プリザーブドフラワーアレンジ
61	パーキンソン病友の会北区支部	王子	会報発行・月例会パーキンソン病に関する情報提供
62	草の根国際交流の会・コアラサークル	王子	イベントを行って外国籍親子の交流の場を作る
63	きたく健やかWKの会	王子	ウォーキングを主体に筋トレ及び脳トレを行います
64	絵本読み聞かせの会カスタネット	王子	絵本読み聞かせ
65	NPO法人市民後見☆北ネット	王子	後見受任とセミナー開催や出前講座、相談活動など。
66	めんどりサロン 絵手紙の会	王子	絵手紙講座(2回のうち1回は昼食の会)
67	街なかふくし・だんだん東十条	王子	カフェ、お楽しみ企画
68	サロン・サンサン	王子	親睦や元気作り(お茶会・体操・ゲーム・歌など)
69	明るく唄う友の会	王子	毎週金曜日に東十条三丁目会館に集まり歌う
70	NPO法人 ねこのみみ	王子	飼い主のいない猫を減らす為の地域猫活動
71	三舞会	王子	新舞踊、茶話会
72	東十条サンハイツ将棋同好会	王子	月1回開催される将棋定例会を通しての多世代交流
73	サンハイツ 俳句会	王子	月1回の句会を実施。その後の句報を出す。吟行も
74	パステルこっとな	王子	パステル画の出前講座等
75	四季の会	赤羽	介護予防の為に楽しく北区さくら体操、ご近所体操他
76	ふれあい会	赤羽	ピアノ伴奏でのコーラス
77	NPO法人東京北部福祉倶楽部	赤羽	食事会、学習会、食文化、コーラス、ハーモニカ他
78	ミニデイホーム さくら	赤羽	食事会・お楽しみ会・手芸・周年記念コンサート
79	ステップ	赤羽	交流会・親子体操

80	北三友の会	赤羽	食事会
81	ボランティア「サクラ草」	赤羽	食事会、レクリエーション
82	桐ヶ丘ほほえみ会	赤羽	脳トレ 認知症予防
83	エッセイ作文の会	赤羽	エッセイを書き、仲間作りをする。
84	ダイヤビック北	赤羽	いつも元気で明るく楽しく健康づくり
85	TOY BOX	赤羽	子どもと一緒に楽しむイベント・講座の企画
86	サークルタイム	赤羽	英語を通じて交流会。また、親子のリフレッシュ
87	コミュニティーカフェ「ドリーム」	赤羽	茶話会・友達作り・その他地域活動
88	囲碁を楽しむ会	赤羽	囲碁の自由対局
89	ほっとカフェ	赤羽	地域のたまり場・どなたでも！
90	アクアフレンズ	赤羽	水中ウォーキング・チェアエクササイズ
91	北園結の会蕎麦倶楽部	赤羽	そば打ちを通じての地域交流
92	ララちゃんのおうち	赤羽	多世代交流、地域商店街活性化、子育て支援
93	笑いクラブ スマイル赤羽	赤羽	笑いの広場の提供。子どもひろばへのボランティア参加
94	赤羽太極拳	赤羽	呼吸・体感の調和と手足の方向角度を学び優雅に！
95	赤羽ベーゴマクラブ	赤羽	ベーゴマ大会、ベーゴマ遊び等
96	ほほ笑みサロン	赤羽	体操・脳トレ・歌・カラオケ・レクリエーション
97	浮しまカフェ	赤羽	認知症の方を地域で支える『ほっと一息カフェ』
98	TENゴスペルクワイア	赤羽	子育て中の母子が一緒に参加できるゴスペルです
99	NPO法人 彩結び	赤羽	多世代交流カフェの運営、講座の開催
100	ピッピ	赤羽	親子交流会・体操・四季の遊び・自然観察
101	ココロのふれあいさろん おむすび	赤羽	孤立予防のための居場所づくり。お困りごとの相談
102	きたくコミュニティ・つむぐわ	赤羽	親子を中心とした多世代の学ぶ場、体験する場作り
103	赤羽自然観察公園ビオトープの会	赤羽	公園内の池でホタルが育つ環境作りと観察会の開催
104	NPO法人 クレセール心の相談室	赤羽	障がい児童・生徒の居場所作り、社会適応能力訓練
105	鶴よ鶴よ	赤羽	体操・脳トレ・折り紙・盆踊・唄・ゲーム
106	りぷりんと北・すまいる北	赤羽	絵本読み聞かせ
107	西が丘桜クラブ	赤羽	ポッチャ・輪投げ・講和法話会・ご近所体操教室
108	EQ(一休)スマイル	赤羽	笑いヨガ・脳活・認知症ケアゲーム・サルサ体操
109	城北囲碁クラブ	赤羽	囲碁対局、講師による囲碁講座・指導、囲碁旅行
110	北赤羽健康麻将同好会	赤羽	マナーを大切に1日楽しく愉快的健康麻将
111	KOKI会	赤羽	健康寿命を延ばし元気で生活する為の体操・脳トレ
112	桐ヶ丘交流サロン	赤羽	指遊び・クイズ・歌・体操と楽しいサロンです
113	よさこい赤羽桜舞	赤羽	よさこい踊りを楽しみ、イベント参加、施設訪問
114	中国茶 水仙の会	赤羽	中国茶の粋な淹れ方を学び、香りとコクを楽しむ
115	浮間UHクラブ	赤羽	週1回 らくらく体操、おしゃべり会
116	なかよし食事会	赤羽	高齢者向けの栄養のある季節の食材での手作り料理
117	喫茶室「虹」	赤羽	お気軽にどなたでも立寄れるカフェです
118	ちいさなさかなの会	赤羽	布絵本作りをツールに、地域社会へ貢献
119	赤羽自主夜間中学「一歩ずつの会」	赤羽	学び直しや日本語習得の方に向け教場を開いている
120	神谷・東十条健康プラザ	赤羽	サロン、居場所、カラオケ、読書会他
121	神谷虹の会	赤羽	配食、食事会
122	神谷堀公園ハイツふれあい会	赤羽	健康体操、落語、演芸、琴、尺八、習字、カラオケ、折り紙等
123	神谷ストレッチクラブ	赤羽	ストレッチ体操、認知症予防体操、マット運動等
124	王子神谷健康クラブ	赤羽	茶話会健康マージャンを通して人との交流を楽しむ
125	コミークラブ	滝野川	交流会(茶話会、レクリエーション)
126	みんなのサロン西大原	滝野川	お茶会＋催事(各種)を開催
127	シャベレーズ	滝野川	おはなし会等を通じ、乳幼児親子の支援
128	NPO法人 勉強レストランそうなんだ！！	滝野川	「放課後デイサービス勉強レストランそうなんだ」を開所
129	さかえ・ふれあいサロン	滝野川	各種脳トレ・歌・体操等
130	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	滝野川	不登校・ひきこもりの家族会「赤羽会」家族懇談会
131	ねこの手	滝野川	木のおもちゃサロン、音楽を楽しむ会やお話会など

132	りゅうのすけくん茶論	滝野川	サロン縁じよい田端駅商店街(谷田橋サロン)運営
133	りぷりんと北・北話会	滝野川	絵本の読み聞かせを通じての社会参加、世代間交流
134	さかえ・で・サロン	滝野川	高齢者を対象としたレクリエーション
135	りぷりんと北・さくら会	滝野川	絵本を通じて心豊かになることを願って
136	カフェあすかの会	滝野川	オレンジカフェ(認知症支援カフェ)のお手伝い
137	よみきかせの会たんぽぽ	滝野川	絵本の読み聞かせ・語り・わらべうたでおはなし会
138	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクト JAPAN	滝野川	防災に関するイベント、セミナー、ワークショップ
139	筋力アップ友の会	滝野川	ストレッチ、脳トレ等でコミュニケーションを図る
140	ソノリテマンドリンクラブ	滝野川	依頼によるボランティア演奏
141	健康カーレットクラブ田端	滝野川	カーレット競技
142	やよいクラブ	滝野川	さくら体操、マシン体操、お口体操の他、お茶会
143	快眠ヨガの会	滝野川	簡単なヨガを通じての健康と生きがいづくり
144	「COCOROごはん」	滝野川	滝野川地域での子育て支援・子どもの居場所づくり
145	すこやか長寿体操倶楽部	滝野川	筋力アップ・バランス歩行能力運動習慣を身につける
146	薬(ひこばえ)	滝野川	参加者と交流しながらのおはなし会
147	BLOSSOMS	滝野川	子育て世代を中心に歌を楽しむ
148	でこぼこキッズ 親の会 グラン・ブーケ	滝野川	発達しょうがい児とその家族の交流、講座、例会
149	飛鳥会家族会	滝野川	困る事を話し合い・支え合い社会資源の上手な活用
150	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	滝野川	社交ダンスの練習会
151	へいへいと遊ぼう！ in北区	滝野川	声優による絵本読み聞かせ&言語聴覚士の発達相談
152	M・G研究会	滝野川	手品で地域住民とのコミュニケーションを図る
153	親子支援グループそらいろの種	全域	保育支援・出張一時保育・チャリティーコンサート
154	紙芝居サークルきたきた座	全域	紙芝居の楽しさを届けています。
155	認定NPO法人 ことばの道案内	全域	最寄りの駅等から目的施設までをことばで道案内
156	北フォルクローレ実行委員会	全域	若者フォークダンス運動・青少年の健全育成
157	おもひでチューズデー	全域	昭和歌謡の演奏を通してお年寄りを元気に！
158	日本歌謡斉唱会	全域	施設・団体への訪問 おたのしみ歌謡 元気作り
159	王子がん哲学外来	全域	がん患者に寄り添い分かち合うメディカルカフェ
160	おもひでロマンチカ	全域	高齢者対象のイベントやサークルでの演奏と講演
161	はあとほっとゼミ	全域	サロン・居場所・ゼミ
162	べっら・べる	全域	ハンドベル演奏

※活動エリア詳細

王子地区 : 十条仲原、中十条、十条台、上十条、東十条、王子、豊島、岸町、王子本町、豊島、堀船

赤羽地区 : 志茂、神谷、岩淵町、赤羽南、赤羽、赤羽西、西が丘、赤羽北、赤羽台、桐ヶ丘、浮間

滝野川地区: 滝野川、栄町、上中里、西ヶ原、昭和町、田端新町、東田端、田端、中里

イ. 地域ささえあい活動交流会、支援講座等

No.	事業名	開催日	参加人数	内容
1	ささえあい講座	11/2	27	活動再開に向けてのポイント を事例を踏まえてコミュニ ティドクターより講義
2	あ！それいいねが見つかる展示会 説明会・実行委員会	11/25, 1/7, 1/20 (中止)	39	ささえあいフェスタの代替え 案として展示会を企画
3	あ！それいいねが見つかる展示会	2/11 (中止)		

ウ. ネットワーク作りを目的として行事等への参加

No.	行事名	開催日
1	秋の子どもゲーム会 in 桐ヶ丘	11/13

### ③おちゃのこ祭祭2021

#### ア. 活動内容

「話がある 和になる 輪ができる」をテーマに団体・個人が参加し、より豊かな地域のネットワークづくりを目指して例年開催している。新型コロナウイルス感染症の拡大、政府による緊急事態宣言の発令などをうけ昨年に続き開催を中止した。

「おちゃのこ祭祭を考える会」をオンラインで実施するなど、Withコロナのおちゃのこ祭祭を検討する中で「おちゃのこ祭祭を忘れないでチーム」「動画撮影チーム」「こころのハードル下げ隊」の3つの活動について参加団体を募集し、それぞれのチームでおちゃのこ祭祭の新しい形を模索し、チラシ作成や、動画撮影、オンライン活用などに挑戦した。

11月20日には「おちゃのこ祭祭交流会」を開催し、それぞれのチームの成果発表とともに、団体同士の交流会として今後のおちゃのこ祭祭について話し合う時間を設けた。

### ④ボランティア保険の取り扱い

区 分	令和3年度		令和2年度	
	取扱い件数	取扱い人数	取扱い件数	取扱い人数
ボランティア保険	220	4,501	190	4,582
行事保険	43	2,063	35	1,128
行事保険（当日参加対応型）	29	726	0	0

\* NPO法人東京都北区市民活動推進機構に受付業務委託

## 5. 助成事業サービス区分関連事業

(事務事業費 3,976千円：うち助成金支出3,885千円)

### (1) 地域ささえあい団体助成事業 (3,976千円)

歳末たすけあい募金の地域福祉配分金(前年度の歳末たすけあい・地域福祉募金)を財源に、以下の①～④の助成を行う。

#### ① <区分I> 地域ささえあい活動助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
  - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
  - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
  - ・ 自主財源の確保が可能
  - ・ 北区内での年間の活動回数が10回(後期は5回)以上である
  - ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
  - ・ 北社協団体会員

※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 A、会場費 B、講師料 C、広報費 D、物品購入費

(ウ) 助成限度額 前期：助成項目A～D合わせて上限5万円  
後期： " 上限3万円

(エ) 令和3年度助成団体

前期助成団体

No.	団 体 名	主な対象者	助成額
1	ボランティアひまわりクラブ	高齢者障がい者	50,000
2	傾聴クラブこあら	高齢者だれでも	50,000
3	傾聴クラブさんさん	高齢者	50,000
4	カモミールの会	障がい者だれでも	41,000
5	サークルタイム	保護者子ども	50,000
6	ほっとカフェ	だれでも	50,000
7	すまい・地域づくりの会	だれでも	15,000
8	シャペレーズ	保護者子ども	20,000
9	親子サークル スキップ	母または親子	30,000
10	赤羽太極拳	高齢者だれでも	50,000
11	ねこの手	だれでも高齢者障がい者子ども	50,000
12	りゅうのすけくん茶論	だれでも	35,000
13	きらきら太極拳	だれでも	50,000
14	傾聴クラブ「ハッピー」	高齢者	50,000
15	さかえ・で・サロン	高齢者	40,000
16	TENゴスペルクワイア	保護者だれでも	50,000
17	特定非営利活動法人 彩結び	乳幼児親子他だれでも	50,000
18	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	不登校・引きこもりの当事者、その家族	50,000
19	NPO法人クレセール心の相談室	課題を抱えている人	50,000
20	飛鳥山太極拳愛好会	だれでも	50,000
21	りぶりんと北・さくら会	高齢者子どもだれでも	50,000
22	神谷ストレッチクラブ	だれでも	50,000
23	きたくコミュニティ・つむぐわ	だれでも	50,000
24	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	保護者子ども他だれでも	50,000
25	北区介護予防リーダーの会	高齢者	50,000
26	りぶりんと北・北話会	他だれでも高齢者	50,000
27	赤羽ベーゴマクラブ	だれでも高齢者障がい者子ども	50,000
28	傾聴クラブてんてん	高齢者だれでも	15,000
29	めんどりサロン絵手紙の会	だれでも	50,000
30	快眠ヨガの会	高齢者	50,000

31	鶴よ鶴よ	高齢者	20,000	
32	COCOROごはん	保護者子ども	50,000	
33	りぶりんと北・すまいる北	だれでも障がい者子ども	50,000	
34	街なかふくし・だんだん東十条	だれでも	30,000	
35	エッセイ作文の会	高齢者障がい者だれでも	50,000	
36	ころとからだの元気Lab.	だれでも	50,000	
37	英語にふれよう	だれでも子ども	38,000	
38	城北囲碁クラブ	だれでも	50,000	
39	神谷・東十条健康プラザ	だれでも	50,000	
40	めんどりサロン 子ども食堂	保護者子ども	40,000	
41	EQ(一休)スマイル	だれでも高齢者障がい者子ども	50,000	
42	北赤羽健康麻将同好会	高齢者	50,000	
43	名主の滝さくら会	高齢者	30,000	
44	ツインズタイム	多胎児とその家族等子ども	28,500	
45	サロン・サンサン	高齢者だれでも	50,000	
46	NPO法人アドリブ	だれでも	50,000	
47	ファンキーモンキーズ	子ども	50,000	
48	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	だれでも	50,000	
49	王子神谷健康クラブ	高齢者だれでも	50,000	
50	中国茶水仙の会	高齢者だれでも外国の方	50,000	
51	東京北区ケンハモサークル	だれでも障がい者子ども	50,000	
52	よさこい赤羽桜舞	だれでも	50,000	
53	北区コミュニケーション・モア	高齢者障がい者だれでも	50,000	
54	りぶりんと北・あおいとり	高齢者子どもだれでも	50,000	
55	ロコクラブ	子ども	50,000	
56	喫茶室「虹」	高齢者だれでも	50,000	
57	特定非営利活動法人ねこのみみ	だれでも	50,000	
58	東十条サンハイツ将棋同好会	だれでも	50,000	
59	ママカフェひろば	子ども(1歳まで)、母親、妊婦	50,000	
60	へいへいと遊ぼう! In北区	子ども	50,000	
61	ステップ	子どもの保護者	50,000	
62	りぶりんと北 つみき	高齢者障がい者子ども	50,000	
63	W(ウイズ)ままリズム 親子deリズム体操‘ピッピ’	子ども	50,000	
64	四季の会	高齢者	50,000	
65	赤羽自主夜間中学「一歩ずつの会」	だれでも	50,000	
66	サンハイツ俳句会	高齢者障がい者子どもだれでも	50,000	
			合計金額(円)	3,032,500
			件数(件)	66

後期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額	
1	M・G研究会	高齢者	30,000	
2	混声合唱団SAKURA	高齢者だれでも	30,000	
3	特定非営利活動法人 ことばの道案内	高齢者障がい者	30,000	
4	おもひでチューズデー	高齢者	30,000	
5	コミークラブ	高齢者	30,000	
			合計金額(円)	150,000
			件数(件)	5

令和3年度(前・後期合計)	3,182,500円	71件
令和2年度(前・後期合計)	3,277,000円	75件



② 〈区分II〉障がい当事者団体助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
  - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
  - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
  - ・ 身体、知的、精神の障がい等の当事者（北区在住）10名以上が会員で、かつ会則を制定している団体
  - ・ 本会の団体会員になっている団体
- ※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 年中行事を含む事業費

(ウ) 助成限度額 上限5万円

(エ) 令和3年度助成団体

前期助成団体

No.	団 体 名	主な対象者	助成額
1	北区肢体不自由児者父母の会	障がい者保護者	50,000
2	北区身体障害者自動車会	だれでも	50,000
3	北区視覚障害者福祉協会	障がい者	50,000
4	北区聴覚障害者協会	障がい者	50,000
5	北区失語症友の会	障がい者	32,500
6	パーキンソン病友の会 北区支部	高齢者障がい者	40,000
7	ソフトラクロス インドア同好会	障がい者	50,000
8	ゆりかもめの会	障がい者	50,000
9	特定非営利活動法人 重度心身障がい児・者親子の会 スマイリーサン	障がい者子ども	50,000
10	デフさくらの会	障がい者高齢者	50,000
11	当事者の会「はるじおん」	障がい者	50,000
12	でこぼこキッズ親の会 グラン・ブーケ	障がい者	50,000
13	東京北卓球バレー同好会	障がい者高齢者子どもだれでも	50,000
14	北区さわやかポニークラブ	障がい者	50,000
15	さざなみ会	障がい者	30,000
合計金額（円）			702,500
件数（件）			15

後期助成団体

No.	団 体 名	主な対象者	助成額
	申請なし		0
合計金額（円）			0
件数（件）			0

令和3年度（前・後期合計）	702,500円	15件
令和2年度（前・後期合計）	750,000円	15件

③ 〈区分III〉団体立上げ助成

- (ア) 助成対象
- ・ 区分Ⅰ「地域ささえあい活動団体」または区分Ⅱ「障がい当事者団体」の条件に該当する団体。ただし過去に歳末たすけあい・地域福祉募金助成において助成金をうけている団体は対象外とする。

- (イ) 助成項目
- A、広報費
  - B、物品購入費

(ウ) 助成限度額 助成項目A～B合わせて上限5万円

(エ) 令和3年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	他助成併願	助成額
	申請なし		
		合計金額 (円)	0
		件数 (件)	0

後期助成団体 (後期助成実施せず)

No.	団体名	他助成併願	助成額
	申請なし		
		合計金額 (円)	0
		件数 (件)	0

令和3年度 (前・後期合計)	0円	0件
令和2年度 (前・後期合計)	0円	0件

④ <区分Ⅳ> 夢ひろげ助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
  - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
  - ・ 北区内において、参加者・スタッフともにメンバーを固定せずに、オープンな活動を行っている団体
  - ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
  - ・ 本会の会員になっている団体

※上記すべての項目に該当すること

- (イ) 助成対象事業
- ・ 先駆的、実験的事業や他のモデルとなるような企画で、その事業に対する準備費、開発費、実践経費
  - ・ 地域福祉に関する調査、研究活動に対する経費、情報収集した事例集の発行経費

(ウ) 助成限度額 上限50万円

(エ) 令和3年度助成団体

No.	団体名	助成額
1	申請なし	
		合計金額 (円)
		0
		件数 (件)
		0

審査

東京都共同募金会北地区配分推せん委員会にて行う

開催日	出席者数 (人)	付議内容
令和3年6月15日	12	・ 令和2年度助成団体実績報告 ・ 令和3年度前期助成金交付審査
令和3年10月1日	12	・ 令和3年度後期助成金交付審査

令和4年度助成事業説明・相談会

開催日	会場	内容	参加団体数
令和4年3月4日	岸町ふれあい館	令和4年度助成事業説明	5団体
令和4年3月15日	岸町ふれあい館	令和4年度助成事業説明	2団体

(2) 子ども・若者応援基金助成事業 (0千円)

令和4年度より子ども・若者応援基金助成事業を開始するため、令和3年度は基金を原資とした支出はなかった。

## 6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業

(事務事業費998千円、人件費8,140千円)

### (1) 地域福祉権利擁護事業 (9,138千円)

#### 【事業内容】

高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が、自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスを適切に利用する権利を擁護することを目的として、下記の援助を実施する。

#### ① 福祉サービスの利用援助

ア. 福祉サービスについての情報提供、助言

イ. 福祉サービスを利用し、又は利用をやめるために必要な手続き

ウ. 福祉サービスの利用料を支払う手続き

エ. 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き

オ. 日常生活支援サービス（福祉サービスの適切な利用のため必要な一連の援助）

#### ② 日常的金銭管理サービス

ア. 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き

イ. 税金、社会保険料、公共料金、医療費、家賃等の支払い手続き

ウ. 日常生活に必要な預貯金の払戻し、預け入れ、解約の手続き

#### ③ 書類等の預かりサービス

金融機関の貸金庫にて、年金証書、預貯金通帳、権利証、契約書類等を保管する。

#### 【実績】

#### ① 相談援助実績

(件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	昨年度 実績
ア. 問い合わせ件数	0	0	0	0	0	6
イ. 初回相談件数	377	24	55	50	506	478
ウ. 相談援助件数	4,652	516	1,082	648	6,898	4,451
合計	5,029	540	1,137	698	7,404	4,935

(注) ア・・・制度の一般的な問い合わせ イ・・・具体的な事例を伴った初回の相談  
ウ・・・2回目以降の相談援助及び既契約者への相談援助

#### ② 契約実績

(件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
ア. 令和3年度当初契約件数	26	6	7	7	46
イ. 新規契約件数	10	4	2	0	16
ウ. 解約件数	6	0	1	0	7
年度末契約件数(ア+イ-ウ)	30	10	8	7	55

#### 参考 (過去5年間の契約件数推移)

(人)

年度	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度	H28年度
年度当初利用者数	39	42	40	36	36
契約者数	16	8	9	13	6
解約者数	9	11	7	9	6
年度末利用者数	46	39	42	40	36

### ③ 生活支援員

#### ア. 生活支援員数

ボランティア活動経験者等の一般区民から生活支援員を採用し、利用者支援を実施。

(人)

令和3年度当初数	19
新規契約者	2
年度末退職者	0

#### イ. 生活支援員研修会等の実施、参加

(人)

No.	研修名	日程	内容	参加者数
1	北社協生活支援員事務連絡会	4/30	活動上の留意点等説明、事故報告、 コロナ感染症対策について	14
2	東京都社会福祉協議会主催生活 支援員新任研修	動画配信	生活支援員の役割と具体的業務、活 動について	2
3	東京都社会福祉協議会主催生活 支援員現任研修	動画配信	知的障がい者支援について基本的知 識を理解する	14
4	北社協生活支援員研修会	11/25	老活・就活のウソ、ホント	11

## 7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業

(事務事業費6,111千円、人件費33,642千円)

### (1) 権利擁護センター「あんしん北」事業 (17,075千円)

福祉サービス利用、成年後見制度の利用、権利擁護に関わる相談及び福祉サービス利用に際しての苦情に総合的に対応する。

#### 【事業内容】

##### ① 総合相談事業

- 一般相談 高齢者や障がい者の権利擁護に関わる一般的な相談
- 専門相談 一般相談のうち、法律的な対応が必要な場合等、法律・福祉・生活に関する一体的な専門相談（毎月第1、3水曜日午後、予約制で実施）
- 苦情相談 福祉サービス利用に関する苦情相談

##### ② 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が必要とされている高齢者、知的障がい者、精神障がい者などに対して、下記の援助を実施する。

- ・一般相談による成年後見制度についての説明・相談
- ・弁護士による専門相談
- ・弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の関係団体の紹介
- ・講演会及び説明会等の実施
- ・利用者の成年後見制度利用に関する援助

##### ③ 苦情対応機関の設置

福祉サービス利用に関する苦情に対する相談対応、苦情解決の実施

#### 【実績】

##### ① 総合相談事業

###### ア. 一般相談（職員対応総数）

項目	件数 (件)
問い合わせ	0
初回相談	508
継続相談	6,915
合計	7,423

###### 参考（過去5年間の一般相談実績推移） (件)

	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度	H28年度
問い合わせ	7	18	19	2	3
初回	488	476	341	355	426
継続	4,462	3,899	4,152	3,282	2,605
合計	4,957	4,393	4,512	3,639	3,034

###### イ. 専門相談（弁護士等対応総数）

実施件数 (件)	25
実施時間 (分)	1,500

###### 参考（過去5年間の専門相談実績推移） (件)

年度	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度	H28年度
件数	19	30	11	17	17

###### ウ. 相談援助総数 (件)

実施件数 (ア+イ)	7,448
------------	-------

###### 参考（過去5年間の相談実績推移） (件)

年度	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度	H28年度
件数	4,976	4,423	4,523	3,656	3,051

エ. 初回相談の経路別相談件数(複数回答)

(件)

区分	本人	親	子	配偶者	兄弟姉妹	親類	隣人・知人	ホームヘルパー	民生・児童委員	介護支援専門員	福祉施設	地域包括支援センター	医療機関	福祉事務所	行政(上記以外)	その他	合計
高齢者	68	2	64	15	13	49	9	2	1	42	4	68	14	1	5	20	377
知的障がい者	3	3	0	0	6	0	1	0	0	0	3	0	2	0	4	2	24
精神障がい者	15	10	1	2	6	1	1	0	0	0	2	4	2	2	3	6	55
その他	14	6	2	1	2	3	2	0	0	4	0	1	1	1	3	10	50
合計	100	21	67	18	27	53	13	2	1	46	9	73	19	4	15	38	506

オ. 初回相談内容の状況(複数回答)

(件)

区分	福祉サービスの手続き	日常的金銭管理	書類等の預かり	保健サービスの手続き	医療に関する手続き	福祉サービスの苦情	今後の生活設計	本事業に関する問合せ	成年後見(任意後見)に関する問合せ	成年後見(法定後見)に関する問合せ	財産保全	消費契約	相続	財産侵害	虐待	遺言に関する問合せ	専門相談	その他	合計
高齢者	41	64	3	0	2	2	18	17	56	202	0	3	19	5	0	21	21	52	526
知的障がい者	4	4	1	0	0	3	0	1	1	14	0	1	2	0	0	0	0	2	33
精神障がい者	11	11	0	0	0	2	5	4	4	25	0	1	1	1	2	2	1	7	77
その他	1	4	0	0	0	7	4	3	5	20	0	0	2	1	0	0	3	8	58
合計	57	83	4	0	2	14	27	25	66	261	0	5	24	7	2	23	25	69	694

② 成年後見制度利用支援事業

ア. 成年後見制度に関する相談の実績(延べ件数)

(件)

項目	内訳				合計	昨年度実績
	電話	来所	訪問	その他		
一般相談による説明・相談	1,643	144	202	173	2,166	1,477
弁護士による専門相談	0	4	0	0	4	4
合計	1,643	148	202	173	2,166	1,481

イ. 相談援助実績(成年後見一般相談延べ件数)

(件)

項目		認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	昨年度実績
初回相談	法定後見	202	14	25	20	261	259
	任意後見	27	0	2	1	30	34
相談援助件数		1,529	17	152	183	1,881	1,198
合計		1,758	31	179	204	2,172	1,483

\* 初回相談の法定後見と任意後見の内訳は複数回答による集計のため重複あり

ウ. 講演会の実施

(人)

No.	講座名	対象	内容	開催日	参加者数
1	成年後見制度のABC	区民一般	成年後見制度の概要	6/17	50
2	古い支度①「エンディングノートの書き方講座～終活のはじめの一步～」	区民一般	エンディングノートの書き方のポイント、活用方法	11/5	55
3	古い支度②「知っておきたい葬儀・供養のはなし」	区民一般	葬儀屋供養の考え方や実際		
4	古い支度③「任意後見制度で将来に備えよう」	区民一般	任意後見制度のあらまし、契約方法、任意後見人の業務	11/26	58
5	古い支度④「遺言」のイロハ～書き方から手続きまで～	区民一般	遺言の講習と実際に書いてみるにはどうするか		
6	古い支度⑤「認知症に伴う法的問題（法定後見制度）」	区民一般	成年後見制度の概要、老後の資金管理	12/10	52
7	古い支度④「いまさら聞けない老人ホームの基礎知識」	区民一般	老人ホームの基礎知識		
8	福祉従事者向け成年後見制度説明会（基礎編）	区内福祉従事者	成年後見制度の概要、申立方法、あんしん北の取り組み	動画配信	16
9	福祉従事者向け成年後見制度説明会（応用）	区内福祉従事者	後見人等の活動、実務	オンライン開催	11
10	小地域出前講座（桐ヶ丘ぷらっとほ一む）	区民一般	成年後見制度の説明	1/27	15
11	小地域出前講座（滝野川ぷらっとほ一む）共催	区民一般	老人ホームの基礎知識とあんしん北の説明	2/24	34

エ. 職員による出張説明等の実施

権利擁護センターの事業等を区民や関係機関の方々に周知し、利用者の掘り起こしを行うため職員が施設等に出向き説明等を実施。

(人)

No.	集会名	対象	内容	開催日	参加数
1	東十条クリニック	医療関係者	成年後見制度	9/7	2
2	オレンジほっとクリニック成年後見勉強会	医療関係者	成年後見制度	10/20	20
3	飛鳥晴山苑家族会	地域住民	成年後見制度	11/30	15
4	上田端親和町会シニアクラブ	地域住民	成年後見制度	12/10	17

③ 苦情対応機関の設置

ア. 苦情相談受付

A. 対象別件数

(件)

項目	内訳				合計	昨年度実績	
	高齢	知的	精神	その他			
問い合わせ件数	0	0	0	0	0	0	
初回相談件数	2	4	5	8	19	11	
内訳	相談のみ件数	2	4	4	7	17	11
	苦情調整委員対応申立件数	0	0	1	1	2	0
相談援助件数	3	6	69	49	127	25	
合計	5	10	74	57	146	47	
相談援助時間(分)	115	155	1,940	610	2,820	750	

B. 苦情内容別件数(複数回答)

(件)

苦情内容別件数		内訳				合計
		高齢	知的	精神	その他	
福祉サービスに関する苦情	サービス内容	2	1	1	5	9
	職員の対応・態度	0	1	3	4	8
	責任者・法人の対応	0	0	1	1	2
	具体的な被害	0	1	0	1	2
	虐待・拘束	0	0	0	0	0
	事業運営全般(寄付強要等)	0	0	0	0	0
	契約不履行・説明不足等	1	1	1	1	4
	利用料負担	0	0	0	0	0
	事業所から利用者に対する苦情	0	0	0	0	0
	その他	0	2	0	0	2
権利侵害	相続問題	0	0	0	0	0
	財産侵害	0	0	0	0	0
	金銭・財産管理	0	0	0	0	0
	金銭トラブル(消費、契約問題)	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	1	2

C. 対応意向別件数(複数回答)

(件)

苦情内容別件数	件数				合計
	高齢	知的	精神	その他	
話を聞いてほしい	2	3	3	6	14
教えてほしい	2	1	1	2	6
調査してほしい	0	0	1	1	2
改善してほしい	0	2	2	3	7
仲裁してほしい	0	0	1	0	1
謝罪してほしい	0	0	1	1	2
弁償してほしい	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0



イ. 区内事業所向け苦情研修会の実施

区内福祉事業所・施設に対し、現場レベルでの苦情解決のための仕組みや体制づくりのための研修を行った

(人)

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
福祉施設等苦情対応研修①	苦情受付担当者	苦情対応の基礎	9/22	12
		同上	動画配信	11
福祉施設等苦情対応研修②	苦情解決責任者	事業所の責任等	動画配信	13

## (2) 成年後見事業 (15,289千円)

### 【事業内容】

成年後見人などに対する後見人等業務の支援などのため、下記の事業を実施する。

#### ① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談

イ. 後見人等研修会の開催

#### ② 地域ネットワークの活用

後見人等の業務や被後見人の生活を地域で支えるための地域ネットワークとして、関係機関等との情報交換や共同事業に取り組む。

#### ③ 成年後見制度推進運営委員会の設置

本会の行う成年後見制度に関する事業の実施にあたり、事業運営方針等についての助言・指導等を行い、事業の適切な運営を確保する。

#### ④ 社会貢献型後見人の養成

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業による講習修了者に対し、研修、実習、講演会、情報提供などにより、社会貢献型後見人の養成を行う。

#### ⑤ 法人後見監督業務の取組

東京都が行った社会貢献型後見人養成事業による講習修了者を後見人、当会が後見監督人としてモデル受任し、社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行う。受任初年度は3か月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行する。

#### ⑥ 成年後見制度利用促進の取組

成年後見制度の申立て段階における後見人等候補者とのマッチング及び後見方針立案支援として、成年後見制度利用促進検討会議を開催する。

### 【実績】

#### ① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談の実績 (件)

項目	件数
法律家による専門相談	2

#### イ. 後見人等研修会の実施

(人)

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
親族後見人等勉強会	親族後見人、または受任を検討している親族	申立て書類を書いてみよう	3/14	14

## ② 地域ネットワークの活用

### ア. 成年後見関係機関連絡会の開催

成年後見制度推進に関わる関係機関による連絡会を開催。

第1回：令和3年10月11日 午後2時～4時 オンライン開催

内容：包括支援センター職員より、権利擁護に関する相談対応の事例報告と、グループディスカッション

テーマ：権利擁護困難事例への対応を多職種で検討する

勉強会：令和4年1月20日 午後2時～4時 オンライン開催

内容：成年後見制度に関わる勉強会～民事信託について～

講師：東京税理士会 石井克美税理士

第2回：令和4年3月25日 午後2時～4時 オンライン開催

内容：専門職より、死後事務の事例発表と、グループディスカッション

テーマ：成年後見人の死後事務について

### 出席団体（計37団体76人）

東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、東京パブリック法律事務所、リーガルサポート東京支部北荒川地区、ぱあとなあ東京、王子公証役場、東京税理士会王子支部、東京都行政書士会北支部、東京都社会保険労務士会北支部、市民後見☆北ネット、北区内居宅介護支援事業所（1か所）、病院（1か所）、障害者支援事業所（4か所）、北区高齢者あんしんセンター（16か所）東京都北区（高齢福祉課）、東京都社会福祉協議会、北区社会福祉協議会、北社協成年後見推進運営委員会

### イ. 地域ネットワーク関係機関との会合等

No.	会議名	内 容	開催日
1	城北ブロック権利擁護センター長会議	センター運営に関する意見交換	4/16
2	城北ブロック権利擁護センター連絡会	センター事業に関する意見交換	①6/4(オンライン) ②11/24 ③2/24(オンライン)
3	北区高齢者あんしんセンター連絡会	令和3年度新規事業に関する説明	5/13
4	北区高齢者あんしんセンター社会福祉士連絡会	令和4年度新規事業に関する説明・報告	9/16(オンライン)

③ 成年後見制度推進運営委員会（協議会）の設置

ア. 成年後見制度推進運営委員会（協議会）の開催

会議	内容	開催日
第1回	令和2年度あんしん北事業報告と協議会の役割確認、社会貢献型後見人モデルケースの報告、中核機関に関する報告。	6/29
第2回	本委員会（協議会）での検討内容の協議、成年後見制度利用促進検討会議及び権利擁護困難ケース専門相談の報告、社会貢献型後見人モデルケースの報告。	9/29
第3回	北区版後見等候補者名簿作成についてヒアリング報告、社会貢献型後見人モデルケースの報告、新規事業に関する報告。	12/23
第4回	本委員会（協議会）での検討事項計画案の協議、次年度事業計画の方向性、社会貢献型後見人モデルケースの報告。	3/15

④ 社会貢献型後見人の養成、受任の準備と取組

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業にともなう養成、研修の実施。

ア. 令和3年度登録者数：計5人

イ. 登録者面接

令和3年度は新規登録者なし。

ウ. 養成研修

都の事業移行にともない、区による養成事業検討中のため新規養成を行わず。

エ. 登録者研修・連絡会等の開催

日程	内容
1/31	知っておきたい高齢者・障がい者の消費者トラブルと対処法
3/23	社会貢献型後見人登録メンバー交流会

⑤ 法人後見監督業務の取組

ア. 後見監督業務の実施

モデルケース1・4の社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行った。受任初年度は3か月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行した。

モデルケース1（継続）

日程	内容
4/30	後見活動に関する監督の実施
5/10	家裁への監督事務報告書の提出
10/25	後見活動に関する監督の実施

モデルケース2（令和元年度中に終了）

モデルケース3（令和2年度中に終了）

モデルケース4

日程	内容
4/16	家裁への監督事務報告書の提出
8/12	後見活動に関する監督の実施
11/22	後見活動に関する監督の実施
2/24	後見活動に関する監督の実施

### (3) 成年後見事業（委託）（7,388千円）

#### ①成年後見制度利用促進の取組

これまで、中核機関として北区における成年後見制度の新たなしくみについて、弁護士、司法書士、社会福祉士の三士業の専門家との意見交換を行い、北区と協議を進めてきた。令和3年6月30日より成年後見制度の申立て段階における後見人等候補者とのマッチング及び後見方針立案支援として、「成年後見制度利用促進検討会議」の実施および福祉従事者向けに権利擁護に関する相談を受けつける「困難ケース専門相談」を開始した。

#### ア. 成年後見制度利用促進検討会議の実施

ケース：延べ46件

後見人候補者職種：弁護士13件、司法書士11件、社会福祉士19件、法人後見1件

本人の居住地：在宅14件、施設入所13件、病院19件

回	日にち	居所	類型（見立て含む）	候補者
1	6/30	施設	後見	社会福祉士
		施設	後見	社会福祉士
		在宅	補助程度	申立て保留
2	7/13	施設	後見	司法書士
		施設	後見又は保佐	再検討
		施設	後見	法人後見
3	7/27	施設	後見又は保佐	社会福祉士
		在宅	後見	社会福祉士
		病院	後見	弁護士
4	8/10	病院	後見	弁護士
5	8/24	施設	後見	社会福祉士
		在宅	後見	社会福祉士
6	9/14	検討ケースがないため中止		

7	9/28	在宅	後見	弁護士
		病院	後見	司法書士
8	10/12	病院	後見	社会福祉士
		施設	後見	弁護士
		病院	保佐	司法書士
		在宅	後見	弁護士
		病院	後見	司法書士
9	10/26	検討ケースがないため中止		
10	11/9	病院	後見	司法書士
		在宅	後見	弁護士
11	11/24	施設	後見	弁護士
		病院	後見	社会福祉士
		施設	保佐	弁護士
		在宅	後見	弁護士
		病院	後見	社会福祉士
12	12/14	施設	後見	司法書士
		病院	後見	弁護士
13	12/24	病院	後見	社会福祉士
		病院	後見	社会福祉士
		病院	後見	弁護士
14	1/11	検討ケースがないため中止		
15	1/25	在宅	後見	司法書士
		在宅	後見	社会福祉士
		病院	後見	弁護士
16	2/8	病院	後見	司法書士
		病院	後見	社会福祉士
		病院	保佐	社会福祉士
17	2/22	在宅	後見	社会福祉士
		在宅	後見	司法書士
		在宅	保佐又は後見	弁護士
18	3/8	在宅	後見	社会福祉士
		在宅	後見	司法書士
19	3/22	病院	後見	社会福祉士
		施設	保佐	司法書士
		病院	後見	社会福祉士
		施設	補助程度	社会福祉士

イ. 権利擁護困難ケース専門相談

	日時	専門職	相談者	内容
第1回	9/24	司法書士	包括支援センター職員	軽度認知症の方の今後の生活について

第2回	11/2	弁護士	包括支援センター職員、CSW	高齢の親と精神疾患のある子供の世帯支援について
		社会福祉士		
第3回	12/24	弁護士	包括支援センター職員	高齢者の施設入所についての親族の関り方について
		司法書士		
		社会福祉士		
第4回	3/15	弁護士	包括職員 社協職員	本人の課題や生活に合った後見人候補者の検討と進め方
		社会福祉士		

ウ. 三士会との意見交換実施状況

日程	内容
4/20	成年後見制度利用促進検討会議、困難ケース専門相談に関する意見交換
9/13	成年後見制度利用促進検討会議のケースや資料についての意見交換
3/2	成年後見制度利用促進検討会議、困難ケース専門相談報告と次年度への意見交換

※三士会：社会福祉士（ばあとなあ東京）、司法書士（リーガルサポート東京）、  
 弁護士（東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会）

## 8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業

(事務事業費898千円 人件費10,641千円)

### (1) 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業 (11,539千円)

#### 【事業内容】

北区から居宅介護サービス支給量の決定を受けた視覚障がい者に対し、通院と同行援護の外出支援を実施する。

#### 【実績】

#### ① ガイドヘルパー登録状況 (人)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	令和2年度
男性	0	0	0	1	0	0	1	2
女性	0	0	0	0	6	31	37	41
合計	0	0	0	1	6	31	38	43

#### ② 利用者登録状況 (人)

区分	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	令和2年度
男性	0	0	0	0	0	3	6	4	2	0	15	12
女性	0	0	0	0	1	4	2	7	9	0	23	30
合計	0	0	0	0	1	7	8	11	11	0	38	42

#### ③ 実施状況

月	利用者数	ヘルパ-実績	総活動時間	介護給付費収入額	利用者負担額	合計収入額
	(人)	(人)	(時間)	(円)	(件)	(円)
4月	34	29	553	1,054,753	10	1,098,210
5月	33	27	458	865,812	8	901,789
6月	30	29	510	999,931	8	1,035,748
7月	31	28	495	968,145	10	1,009,819
8月	32	25	400	783,738	9	817,943
9月	29	29	495	943,118	9	972,776
10月	31	32	602	1,067,429	10	1,103,979
11月	35	30	633	1,244,080	9	1,283,138
12月	35	32	548	1,043,950	10	1,086,848
1月	34	29	381	709,214	10	744,721
2月	29	30	406	754,250	7	778,642
3月	32	27	465	976,760	9	1,003,887
合計	385	347	5,946	11,411,180	109	11,837,500
月平均	32	29	496	950,932	9	986,458
2年度	417	352	6,485	12,298,097	138	12,763,720

#### ④ 登録ガイドヘルパー研修会

合同研修、登録更新研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度も実施せず

#### ⑤ 関係団体への説明会等

No.	事業名	内容	参加日	人数(名)
1	障害福祉サービス事業者研修会	北区障害者基幹相談支援センターの機能と役割について	11/25	60
2	福祉学習 西ヶ原小学校	視覚障害とは「見えないってどういうこと？」	12/15	60



## 9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業

(事務事業費 4,384 千円、人件費 36,518 千円)

### (1) 生活困窮者自立支援センター事業（北区から受託）（40,902 千円）

#### ① 事業内容

「北区くらしとしごと相談センター」の運営（平成 27 年 3 月～）

さまざまな理由により、現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方、将来的に生活困窮になるおそれがある方（以下、「生活困窮者」という）に対し、それぞれが抱える課題を整理し、一人ひとりの状況に合わせた支援を、本人とともに考え、支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行うことで、それぞれの状況に合わせた自立をめざし、生活の立て直しを図る。

また、生活困窮者の社会的孤立を防ぐため、地域の社会資源を開発するとともに地域住民への理解を広げる。

#### ア. 自立相談支援事業

- ・就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成
- ・訪問支援も含め生活保護にいたる前の段階から早期に支援
- ・地域ネットワークの強化など「地域づくり」も担う

#### イ. 住居確保給付金

- ・離職により住居を失った、またはその恐れが強い生活困窮者であって、所得が一定水準以下の方に対し、家賃相当の「住居確保給付金」（有期）を支給。

支給は原則 3 か月間とし、世帯の収入が回復しない場合、2 回の延長、最長 9 か月までの支給が認められている。

なお、支給は 1 回、最長 9 か月までとされており、原則として再支給は認められない。

#### ウ. 家計相談支援事業

- ・家計収支等に関する課題の評価、分析と相談者の状況に応じた支援計画作成
- ・生活困窮者の家計の再建に向けたきめの細かい相談支援
- ・法テラス等関係機関へのつなぎや、必要に応じて貸付の斡旋

※「北区くらしとしごと相談センター」では、上記のア～ウのほか、就労支援及び就労準備支援事業を、株式会社パソナが北区から受託して行っており、同社と連携しながらセンター運営にあたっている。

#### エ. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による住居確保給付金の対象拡大及び再支給

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来、離職から 2 年以内の離職者を対象としていた住居確保給付金について、令和 2 年 4 月 20 日（月）より失業、廃業と同等程度の減収状況にある方まで対象を拡大した。

また、令和 3 年 2 月より特例措置として開始した住居確保給付金の再支給は、数度の申請期間延長を経て、令和 4 年 6 月 30 日まで申請受付を延長することとなった。

## ② 相談・支援の実績

### ア. 相談受付・申込・支援継続中の件数 (件)

No.	項目	令和3年度	令和2年度	備考
1	相談受付件数 (件)	723	1,695	
2	プラン策定件数 (件)	739	—	再プランを含む
3	プラン策定割合 (%)	102.2	—	プラン策定件数/相談受付件数

### イ. 相談延べ件数 (件)

No.	年度		
	項目	令和3年度	令和2年度
1	電話相談・連絡	9,439	21,544
2	来所面談	7,515	4,188
3	訪問	36	21
4	同行	47	0
合計		17,037	25,753

### ウ. 相談内容内訳 (重複あり) (件)

No.	項目	令和3年度	令和2年度
1	病気、健康、障がい	1,034	13
2	住まい	6,154	23,259
3	収入・生活費	7,377	22,674
4	家賃・ローン支払	6,474	23,299
5	税金、公共料金支払	280	569
6	債務	410	370
7	仕事探し、就職	1,491	590
8	仕事上の不安、トラブル	596	16,312
9	地域との関係	51	2
10	家族との関係	331	1
11	子育て	42	2
12	介護	117	10
13	ひきこもり・不登校	65	24
14	DV・虐待	53	5
15	食べるものがない	325	142
16	その他	1,006	1
合計		25,806	87,273

エ. 新型コロナウイルス感染拡大の影響による住居確保給付金の相談・申請件数

(件)

		令和3年度	令和2年度	備考
1	相談・問い合わせ	5,025	12,645	
2	初回申請	165	1,071	
3	延長申請	264	690	延長、再延長、再々延長を含む
4	再支給	168	44	

③ 支援調整会議

北区くらしとしごと相談センターの相談支援の利用を申し込んだ相談者へのアセスメントの結果、相談支援員は、それぞれの相談者個別のプランを作成する。支援調整会議は、作成された支援プランについて検討のうえ決定する場である。

従来は、月1回対面にて会議を開催していたが、令和2年度に続き令和3年度も書面での開催とし、主に住居確保給付金の支援を決定した。

④ 会議・見学等

生活困窮者自立支援を行うにあたり、関連団体、機関等との連携はきわめて重要である。さまざまな団体、機関との情報交換や連携を図るための会議出席、事業周知による連携機関、団体の開発、公民さまざまな機関、団体について情報を得ることでより充実した支援を行えるように努めてきた。

令和2年度に続き令和3年度も、感染予防の観点及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済的打撃を受けた相談者の増加に対応するため、対面による会議や見学、視察、研修、プログラムの実施等ほとんどの取組みを休止した。

ア. 外部会議への参加

No	会議名	開催日	内容
1	生活保護受給者等就労支援協議会	6/25(金)	生活保護受給者、生活困窮者、ひとり親などの就労支援についての実績報告
1	ひきこもり関係課連絡会	5/14(金)、7/27(金)、8/27(金)、12/1(水)、3月(書面開催)	ひきこもり、8050問題等の課題に対応する関係課による連絡会
2	ひきこもり合同相談会	7/8(木)、11/4(木)	ひきこもり関係課による合同の相談会。7月は3ケース、11月は5ケースの相談を受ける。
3	東京都ひきこもりに関する合同相談会(運営サポート)	1/31(月)、2/1(火)	東京都が都内数か所で開催する合同相談会のうち北区で開催した相談会のサポートをするとともに、北区ひきこもり関係課連絡会への相談ケース報告を受ける。
4	相談支援員研修 地区活動報告	1/21(金) 打合せ:11/11(木)	都研修動画の撮影及びその打合せ
5	東京生協連まちづくりタウンミーティング(ZOOM)	2/16(水) 打合せ:1/6(木)	くらしとしごと相談センターの紹介

⑤ くらしとしごと相談センター事業に付随する取組み

ア. 食料支援

北区くらしとしごと相談センターに来所された相談者で、食料を必要としている方に、地域住民や企業等からいただいた食料を配分している。

食料の支援は、すぐに食べ物を必要とする相談者はもちろん、家計を立て直すために活用することもある。

通常は相談を受けたうえで食料支援を行うが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困窮状態に陥る方が増えていることを受け、自由に持ち帰ることができるように、窓口配置する食料を増やした。

食料は、フードドライブの実施、各家庭や企業等からの直接のご寄付によって確保することができる。

令和2年度に続き令和3年度も、感染予防の観点から、北社協としてフードドライブは実施しなかったが、独自にフードドライブを実施した4団体・企業から17件の寄付を受けた。

■ 食品寄付受付件数

(件)

寄付者	令和3年度	令和2年度
個人からの寄付	80	25
企業・団体からの寄付	44	30
その他	0	3

■ 食料支援件数

(件)

食料支援件数	件数
社協備蓄の食料	227
フードバンク（セカンドハーベストジャパン）紹介状発行	4
年末食料配布	100

※窓口配置の食料を持ち帰ったケースを除く、相談援助のうえでの食料支援件数。

## 10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 17,022 千円、人件費 34,275 千円)

### (1) 生活福祉資金貸付事務受託事業（東京都社会福祉協議会から受託）（51,297 千円）

#### ①生活福祉資金貸付事務受託事業

##### ア. 事業内容

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、無利子もしくは低利子での資金の貸付と、必要な相談援助を行うことで、世帯の経済的自立等を図ることにより安定した生活を送ることができようにする。

##### イ. 実績

##### A. 年間貸付決定・相談件数

貸付資金区分	件数・年度		決定件数 (件)		相談件数 (件)	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
福祉資金(緊急小口資金を含む)	0	0	424 (※)	388 (※)	10	145
教育支援資金	4	9				
総合支援資金	0	0	6	2	1	3
不動産担保型生活支援資金	0	1	1	3		
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	0	1	1	3		
合計	4	10	441	538		

(※)新型コロナウイルス感染症拡大の影響による特例貸付については 10. ②緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付（東京都社会福祉協議会から受託）(p66～)のページを参照。

##### B. 貸付資金種別内訳及び貸付決定金額

貸付資金区分	資金種別	令和3年度		令和2年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
福祉資金	その他の福祉資金等	0	0	0	0
	緊急小口資金	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費のみ	1	387,000	4	5,314,000
	教育支援費+就学支度費 (うち就学支度費金額)	3	4,283,000 (863,000)	5	6,285,000 (984,000)
	小計	4	4,670,000	9	11,599,000
総合支援資金		0	0	0	0
不動産担保型生活支援資金	要保護向け不動産担保型生活支援資金	0	0	0	0
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	入学準備金	0	0	1	480,000
合計		4	4,670,000	10	12,079,000

※上記は貸付が決定した金額。教育支援資金（就学支度費含む）は、分割での交付のため本人への交付金額とは異なる。

※資金種別は、令和3年度または令和2年度に貸付実績があったもののみを掲載。

## ② 緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付（東京都社会福祉協議会から受託）

### ア. 事業内容

生活福祉資金貸付事業の一環で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による特例貸付の相談、受付業務を令和2年3月25日（水）より開始。

当初、申請期間を令和2年7月末までとしていたが、数回の延長を経て、令和4年6月末まで延長されることとなった。

なお、令和2年7月より開始された総合支援資金延長貸付は令和3年6月末日で、令和3年3月から開始された総合支援資金再貸付は令和3年12月末日で終了となった。

また、緊急小口資金と総合支援資金初回貸付については、令和4年2月から、非課税世帯（借受人及び世帯主が非課税である世帯）を対象とした償還免除について、東京都社会福祉協議会にて受付を開始している。

### イ. 貸付制度の概要

#### A. 緊急小口資金（特例貸付）

貸付金額 20万円 据置期間 1年以内 返済期間 2年以内（24回以内）  
連帯保証人 不要 利子 無利子（延滞利子年3.0%）

#### B. 総合支援資金（特例貸付）

貸付金額 二人以上世帯：月額20万円以内 単身世帯：月額15万円以内  
貸付期間 原則3か月以内  
据置期間 1年以内 返済期間 10年以内（120回以内）  
連帯保証人 不要 利子 無利子（延滞利子年3.0%）

\*総合支援資金延長貸付及び再貸付も同じ内容である。

※ただし、令和4年3月31日現在、A、Bとも据置期間が延長されている。

### ウ. 実績

#### A. 相談・申請件数

	令和3年度		制度開始からの累計	
	緊急小口資金 (件)	総合支援資金 (件)	緊急小口資金 (件)	総合支援資金 (件)
相談・問い合わせ	5,391	10,281	13,698	22,503
申請	1,530	1,458	8,042	5,979
延長申請		528		2,783
再貸付申請		1,819		3,667

## 11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 1,360 千円、人件費 5,079 千円)

### (1) 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業 (北区から受託) (6,439 千円)

#### ① 事業内容

一定所得以下の世帯の子どもの進学を支援するため、以下の内容で貸付を行う。  
進学後、一定の要件を満たすことにより、償還免除となる。

#### ア. 学習塾等受講料

中学 3 年生・高校 3 年生とも限度額 200,000 円

#### イ. 大学・高校受験料

高校・・・限度額 27,400 円 (計 4 回まで ※1 校あたりの上限 23,000 円)

大学・・・限度額 80,000 円 (回数や金額の制限なし)

#### ② 実績

##### ア. 相談件数 (件)

令和 3 年度	令和 2 年度
2,329	882

※新規貸付相談、問い合わせ・継続相談、償還相談の総計

##### イ. 貸付件数 (件)

貸付区分・学年	件数・年度	決定件数	
		令和 3 年度	令和 2 年度
学習塾等受講料	高校受験	38	73
	大学等受験	29	20
受験料	高校受験	44	70
	大学等受験	43	29
合計		154	192

## 12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業

(事務事業費 70 千円)

### (1) 緊急援護たすけあい資金貸付事業 (70 千円)

#### ① 緊急援護金貸付・給付事業

##### ア. 事業内容

緊急に資金を必要とする方へ次の援護金等を貸付及び給付する。(福祉事務所に委託)

- ・北区在住の生活困窮者への緊急生活費貸付
- ・住所不定者への交通旅券支給

##### イ. 実績

区分	令和3年度		令和2年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
緊急生活費貸付	205	1,188,400	220	1,126,610
交通旅券支給	32	22,780	28	6,600
合計	237	1,211,180	248	1,133,210

#### ② たすけあい資金貸付事業

##### ア. 事業内容

緊急で一時的な出費によって、日常生活を脅かされるおそれがあり、他から資金を借り受けることが困難な世帯に対し、3万円を限度額として緊急生活資金等を貸し付ける。

##### イ. 実績

区分	令和3年度		令和2年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
生活保護受給世帯	0	0	1	7,000
一般世帯	0	0	0	0



### 13. 子ども支援事業 (事務事業費 3,354 千円、人件費 10,260 千円)

#### (1) 学習支援事業 (北区から受託) (10,489 千円)

##### ① 小学生対象学習支援教室

北区からの受託事業として生活困窮者自立支援事業の任意事業である「子どもの学習支援教室」の立ち上げ・運営支援に取り組んでいる。

令和2年度までに立ち上げた7教室に加え、新たな教室として浮間地区、田端地区の開設準備を行い、講師ボランティアの募集と会場の確保について進めた。堀船教室は会場である東京福祉大学が立ち入り禁止の状態であったため、学生グループがオンライン学習を開始した。教室開催については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止期間が長くなる教室もあった。

#### ア. 学習支援教室実施状況

教室名	開催時期・時間	延べ参加者人数 (人)	
		令和3年度	令和2年度
東十条	休止	0	40
滝野川	毎月第1、第3水曜日 17:00~19:00	185	507
桐ヶ丘	毎月第2、第4土曜日 14:00~15:00	93	186
堀船	毎月第2、第4水曜日 15:30~19:00	74	0
王子	毎月第1、第3月曜日 17:30~18:30 ※コロナ対応として、毎週月・木曜日に短時間分散開催とした	521	1,193
中十条・赤羽西	毎月第1、第3水曜日 16:30~18:30	6	0
豊島	毎月第1、第3土曜日 16:00~18:00	15	253

#### イ. 学習支援関連支援実績

項目	令和3年度		令和2年度
	件数 (件)	前年度比 (%)	件数 (件)
立ち上げ支援	6	600	1
運営支援	227	92	247
個別支援	9	129	7
会議	7	175	4
ボランティア調整	176	255	69
寄付	10	83	12
その他	11	122	9

#### ウ. 学習支援教室運営団体への研修等

例年、学習支援教室を運営する団体等と対象とした研修を行っているが、令和3年度は、長引くコロナ禍において長く活動を休止せざるを得なかった団体が、コロナ禍にあっても活動を再開したいとの思いを強くすることを受け、コロナ禍における教室運営をテーマに情報交換会を行った。

事業名	内 容	開催日	参加者数 (人)
学習支援教室運営者 情報交換会 (オンライン)	コロナ禍における安全に配慮した教室開催、休止中の教室の再開時のポイント等情報交換	3/8	14

#### エ. 学習支援ボランティアの募集

学習支援教室の運営の安定、及び新たな学習支援教室立ち上げを目指し、当会広報紙「きたふくし」や関係機関等へのチラシ配布などにより学習支援ボランティアを募集した。

項目	実施内容	掲載・実施数(回)	問合せ・応募件数
募集記事掲載	きたふくしへ160号、165号への掲載	2	45

#### ② キャリア学習イベント

子どもの学習・生活支援事業の一環として、同時に広く区内の子どもたちの参加も求め、子どもたちが将来の夢を描く一助となることをめざし、キャリア学習として職業体験イベントを実施。

実施にあたっては、地域で子ども支援活動等を実施する団体や大学等と連携、協働している。

令和2年度に引き続き「(一社)SHOIN」「(公社)東京青年会議所北区委員会」、「東京家政大学ボラガール」、「慶應義塾大学医学部学生」の協力により、「キャリア学習プログラム～職業体験イベント～」を実施。弁護士、左官職人、医師、ホテル経営などの体験を通して、子どもの「知る喜び」、「学ぶ楽しさ」を育み、「どのような仕事につきたいか」「夢をかなえるためにはどのようなことをするべきか」を考えるきっかけとなるように工夫し企画した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、岸町ふれあい館第5集会室、北とぴあカナリアホールの2会場を利用しての実施参加人数を制限しての実施となった。

#### ア. キャリア学習イベント参加状況

イベント名	参加者数 (人)		
	内訳	令和3年度	令和2年度
小学生の キャリア学習プログラム 北区で職業体験 ～地域の大人達にお仕事 を学び、お仕事の興味を 深めていこう。～	小学生	47	27
	中学生	-	2
	保護者	37	24
	講師	20	26
	ボランティア	15	4

**(2) ネットワーク支援事業 (3,124 千円)**

「子どもの貧困の連鎖を断ち切り孤立を防ぐ」ことを目標に、地域の大人で守り育てていくためのネットワークとして「北区子ども・若者応援ネットワーク」の運営を行うとともに、子ども支援活動の運営・立上げに関する相談及び支援、社会資源の調査、北社協子ども支援事業の周知、区からの受託事業として子ども食堂ネットワーク構築支援、学習支援教室の立ち上げ支援を実施した。

① 子ども・若者応援ネットワーク

「子どもたち、若者たちの育ちを応援する北区」を目指すネットワークとして設立されたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、研修、啓発活動等が困難になった事により、活動の見直しを行った。令和3年度については大学連携を中心に活動を進め、日本女子大学との連携について協議を行った。令和4年度から地域の子どもの支援活動に学生を受け入れ、ボランティア活動が単位取得に繋がるといった連携を行えるよう準備を進めた。

No.	開催日	参加者数 (人)	内 容
1	5/11	10	大学との連携に関する打合せ
2	6/ 1	10	大学訪問
3	9/21	5	ZOOMによる打合せ
4	12/ 9	7	連携団体説明会 1
5	R4/ 1/ 8	5	連携団体説明会 2

② 子ども食堂ネットワーク構築支援事業 (北区から受託)

ア. ネットワーク会議及び研修

平成30年6月に発足した「北区子ども食堂ネットワーク」の事務局として、情報提供・情報交換、研修、寄付品の調整などを行うことで、子ども食堂活動の支援と連携強化を行っている。

令和2年度に続き、令和3年度もコロナ禍の影響により連携が希薄になりがちなネットワークの連携強化を図るため、対面及びオンラインを活用し、ネットワーク会議を実施した。

また、今年度より北区役所からの子ども食堂助成を受ける団体は、虐待防止に関する研修を受講することとなり、子ども食堂ネットワーク会議後に子ども家庭支援センター、北区子ども未来課と北区社会福祉協議会が共催し、北区子ども家庭支援センターへ講師を依頼し実施した。

なお、「食品衛生講座」については、講師となる北区保健所が前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響による業務繁忙のため、開催を見送った。

No.	項 目	内 容	開催日	参加数(団体)
1	ネットワーク会議 (対面、オンライン) ※研修を同日開催	・新規団体紹介 ・コロナ禍における現在の活動状況について ・困っていること、共有したいこと ・その他	9/30	17
2	児童虐待防止研修	児童虐待防止と子ども食堂による見守り強化について 講師：北区子ども家庭支援センター職員	9/30	18

## イ. 子ども食堂に係る団体活動及びネットワーク構築支援

令和2年度には新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動を終了する団体もあったが、令和3年度になると新規に立ち上げを検討するところもあり、「子ども食堂ネットワーク」の加盟団体は30団体となった。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休止の食堂が増える半面、子ども食堂への寄付申し出が急増し、ネットワーク内で情報を共有することで、必要とする食堂へ配分を行うことができた。

また、緊急事態宣言等の影響で収入が減少し、食品の購入が困難になった世帯等へ食品を渡す「フードパントリー」活動を行う区内の支援団体は1団体増え4団体となった。

項目	令和3年度		令和2年度
	件数（件）	前年度比（%）	件数（件）
立ち上げ支援	10	48	21
運営支援	230	264	87
個別支援	2	100	2
会議	6	600	1
ボランティア調整	9	69	13
物品寄付	343	173	198
資金寄付調整	6	-	0
利用相談	3	23	13
ネットワーク支援	33	157	21

## ③ 子ども支援活動団体の立ち上げ・運営支援

子ども支援団体の設立、運営に関する相談・支援を実施した。

利用できる助成金等の制度紹介の他、先進事例への見学同行、調整、個々の団体では難しい研修等を社協が開催することで、各団体における子ども支援強化について実施した。

例年開催している学習支援教室運営者向け研修は、感染予防の観点からオンライン開催とし、コロナ禍で安全に配慮した開催方法で実施した。

また、子ども食堂の運営支援の一環として、全国子ども食堂ネットワーク交流会へ社協職員が参加し、そこで得た情報を北区の子ども食堂ネットワークで共有するなどを行った。

講演・研修・イベント名	内 容	開催日	参加者数 (人)
全国子ども食堂ネットワーク交流会	全国子ども食堂ネットワークによる意見交換・情報交換会	2/5	96
学習支援教室運営者情報交換会（再掲）	コロナ禍における安全に配慮した教室開催、休止中の教室の再開時のポイント等情報交換	3/8	14

#### ④ 他機関との連携

2か月に1回「北区子ども家庭支援センター」「北区子ども未来課」「北社協」の3者による定例会議を行い、事業予定、課題等の共有のほか、必要があれば個別のケース等が抱える問題解決に向けた話し合いを行った。定例会議を実施することにより、担当者間の顔の見える関係づくりにもつながり、各事業を実施する上でも相談、同行等の連携につながった。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活困窮に陥った家庭からの子ども支援に関する相談にも対応し、必要に応じて専門機関につないだ。

講演・研修・イベント名	内 容	開催日	参加者数 (人)
全国子ども食堂ネットワーク交流会（再掲）	全国子ども食堂ネットワークによる意見交換・情報交換会	2/5	96
座間市社協との情報交換	子ども食堂、学習支援事業等の情報共有	月1回	5~10
北区子ども家庭支援センター、北区子ども未来課との定例会議	日頃から相談しやすい体制づくりの一環として、定例会議を実施	各月	5~7

### (3) その他の子ども支援事業（0千円）

#### ① 調査・広報啓発

子ども支援活動に取り組む団体が利用できる社会資源の調査、連携の可能性のある団体、個人へのヒアリング等については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりリモートにて行うなど工夫した。

前年度と比較して寄付（資金、物資など）の問い合わせが増えたため、子ども支援事業に対する指定寄付として受付を行った際は、どのような活用をしたかフィードバックを寄付者に対して行い、承諾があればフェイスブック等で区内外に発信した。

子ども・若者応援基金の設立に伴い、区内の企業、法人、慈善団体へ基金概要の説明と協力の依頼を行うとともに、きたふくし等を活用して、区内全域に基金の周知を図った。その際は基金の内容のみならず、地域の子どもの支援の現況などもお伝えすることで、子ども支援活動全体の啓発を行った。

#### ② ひとり親世帯応援事業

ひとり親家庭の孤立防止を目的とした当事者同士の交流、仲間づくり、親と子のコミュニケーション、情報提供の場にもつながる「夏休み親子バスハイク」について、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止とした。

メールを活用した、ひとり親世帯への助成金、フードパントリー、寄付などの情報提供を中心に取り組んだ。

③ オレンジリボンキャンペーンへの協力

北児童相談所と北区子ども家庭支援センターが主催する、児童虐待防止の啓発活動「オレンジリボンキャンペーン」に協力し、商店街での啓発事業に参加した。

実施場所	実施日	内 容
十条銀座商店街	11/8	児童虐待防止推進月間の啓発グッズの配布。民生委員・児童委員も参加。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学生のボランティアは参加せず、啓発資料、ノベルティの配布を中心に実施。
赤羽 LaLa ガーデン	11/10	

## II. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分

### 1. 歳末たすけあい運動事業 (事務事業費2,282千円)

#### (1) 歳末たすけあい運動事業 (2,282千円)

- ① 募金名称 歳末たすけあい・地域福祉募金
- ② 運動期間 令和3年12月1日～12月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会／東京都社会福祉協議会
- ④ 実施団体 北区町会自治会連合会／北区赤十字奉仕団／  
北区民生委員児童委員協議会／北区社会福祉協議会
- ⑤ 協力 北区
- ⑥ 運動の成果

収入内訳		金額 (円)
ア. 募金収入		22,827,013
A.	町会・自治会連合会取扱分	21,650,892
B.	民生委員児童委員協議会取りまとめ分	142,392
C.	北区社会福祉協議会事務局取扱分	1,033,729
	職場募金	781,730
	募金拠点取扱分 ※募金拠点＝北区エコー広場館4館	56,894
	イベント募金分	1,295
	個人・団体等募金分	193,810
イ. 雑収入 (前年度繰越金および当年度利子収入)		16
ウ. 北社協負担分		0
収入合計		22,827,029

支出内訳		金額 (円)
エ. 東京都共同募金会納付金 (令和3年度地域福祉活動費に充当)		20,544,327
オ. 事務経費		2,282,702
支出合計		22,827,029

(令和4年1月31日監査実施日現在)

#### ⑦ 実施委員会

##### 令和3年度 第1回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
10/13	14	会計監事の選出 令和3年度北区歳末たすけあい運動の実施 令和3年度北区歳末たすけあい運動 実施・スケジュールの確認

##### 令和3年度北区歳末たすけあい運動実施団体説明会及び配分先団体による活動報告

開催日	出席者数(人)	付議内容
10/27	43	実施団体代表者紹介 令和3年度北区歳末たすけあい運動の実施 配分先団体による活動報告

##### 令和3年度 第2回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
3/25	13	令和3年度北区歳末たすけあい運動 監査報告 令和3年度北区歳末たすけあい運動 活動報告

※ 平成28年度に、以下を任務とする「北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会」を設置。

- ア. 歳末たすけあい運動の実施内容に関する事
- イ. 会計監事の選出に関する事
- ウ. その他、北区歳末たすけあい運動の実施についての必要な事項

#### ⑧ 監査

開催日	出席者数(人)	監査内容
1/31	6	令和3年度北区歳末たすけあい運動決算監査

### Ⅲ. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分

1. 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業（事務事業費9,465千円、人件費23,464千円）

(1) 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業 (32,929千円)

2. 滝野川東介護予防拠点施設事業（事務事業費3,019千円、人件費20,831千円）

(2) 滝野川東介護予防拠点施設事業 (23,851千円)

#### 【事業内容】

ぷらっとほーむ滝野川東及びぷらっとほーむ桐ヶ丘の運営

① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 介護予防教室（ストレッチや筋トレ、専門職による講座、フラワーアレンジ等）

イ. ボランティアや地域の方々との交流 A. 交流サロン縁じょいプログラム B. 地域交流行事  
C. おうちでボランティア D. 情報提供等

ウ. その他 A. 自主グループ支援(会場貸し, 交流会, 出前講座) B. 体力測定会 C. 連携事業等

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービス提供する事業

介護認定非該当者の中でも身体の虚弱な高齢者を対象として、施設において運動や社会参加等のプログラムを提供することで介護予防を推進する。滝野川東は毎週木曜日、桐ヶ丘は毎週水曜日に実施。

また、高齢者が地域ではつらつと自立生活を送るための支援プログラムを地域住民等と協働で実施している。

#### 【実績】

① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 両施設合計延べ参加者数および実施回数

	交流サロン 講演会等 参加者数(人)	介護予防教室参 加者数(人)	担い手等 人材育成事業 参加者数(人) ※1	会場貸・ 出前利用 者数 (人)	ボラン ティア 活動 (件)	その他 ※2
4月	16	245	0	385	55	4
5月	0	183	0	215	50	3
6月	0	217	0	526	117	0
7月	48	253	32	404	31	141
8月	10	248	13	532	123	24
9月	77	297	0	438	16	0
10月	42	322	0	682	33	0
11月	205	330	0	715	153	139
12月	118	352	0	639	35	58
1月	167	305	0	501	91	22
2月	188	251	13	503	32	28
3月	307	371	0	672	38	147
計	1,178	3,374	58	6,212	774	566
年間実施回数 (回)	94	458	8	791	134	120
広報物 配布先 合計	1,865	※1 介護予防リーダーフォローアップ講座 等 ※2 利用者満足度調査、自治会・町会行事協力 等				



イ. ボランティアや地域の方々との交流

A. 交流サロン縁じょいプログラム

	内容	協力団体	開催回数 (回)	参加人数 (人)
1	交流サロン	桐ヶ丘交流サロン	8	118
2	大人の寺小屋		8	81
3	パステル画	パステルこっとな	8	104
4	ちょこっと生け花		8	84
5	フレイル予防と風邪対策	正能優子氏とバランスクッキング	1	15
6	書初め		1	8
7	暁寿会	内海暁寿氏	1	16
8	まいにち体操		74	900
合計			109	1,326

B. 地域交流行事（桐ヶ丘）

ぷらっとほーむまつり検討会

目的および内容	協力団体	開催回数 (回)	参加人数 (人)
地域住民同士の交流促進と連携強化、介護予防の普及啓発	桐ヶ丘地域の民生委員、自治会、福祉施設、自主グループなど22団体	1	19

桐北自治会 夏休みラジオ体操

目的および内容	協力団体	実施場所	開催回数 (回)	参加人数 (人)
意欲的になる様に運動指動員や介護予防リーダーが参加し体操を実施	桐北自治会 介護予防リーダー	赤羽北 3丁目 児童遊園	3	60

C. おうちでボランティア

コロナ禍で減少してしまった人とのつながりを感じると共に社会参加につなげる

施設名	内容	参加人数(人)
滝野川東	趣旨説明、キット配布、完成品受取など	418
桐ヶ丘	おうちで折り紙、布の寄付、制作協力など	134

D. 情報提供

介護予防の普及啓発、コロナ禍で増えた自宅時間を活用するための資料提供

施設名	SNS、Webサイトの活用回数(回)	お便り送付や掲示板活用の回数(回)
滝野川東	15	24
桐ヶ丘	23	32

ウ. その他

A. 自主グループ支援

施設名	会場貸し (件)	出前講座 (件)	交流会開催 (件)
滝野川東	353	55	6
桐ヶ丘	221	28	9
合計	574	83	15

B. 体力測定会

①握力、②5m通常歩行、③最大歩行、④TUG(TimedUpandGo)、⑤開眼片足立ちの計5項目実施

施設名	開催回数 (回)	参加人数 (人)
滝野川東	12	85
桐ヶ丘	12	68
合計	24	153

C. 連携事業

施設名	内容	件数
滝野川東	圏域内高齢者あんしんセンター、理学療法士等専門職や介護予防リーダーの会と連携し地域住民のニーズに応えた講座・イベントを実施	16
桐ヶ丘	圏域内高齢者あんしんセンター、福祉施設、自治会等の活動サポート	52

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービスを提供する事業

ア. 通所型サービス事業

施設名	施設定員 (人)	登録者 (人)	年間利用延数 (件)	施設別年間 通所事業日数 (日)		定員に対する利用 率 (%)
				木曜日	水曜日	
滝野川東	20	14	227	49		23.2
桐ヶ丘	30	18	653	48		45.3
合計	50	32	880			

イ. 登録者男女別内訳 (人)

施設	男性	女性	合計
滝野川東	4	10	14
桐ヶ丘	5	13	18
合計	9	23	32

ウ. 来所者数・相談件数等 (延べ人数 ※2施設合計) (人)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護 予 防 事 業 関 連	見学	0	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	会場貸出し	197	147	258	252	317	313	399	441	381	319	289	397	3,710
	来所による 問合せ・相談	178	104	177	124	154	151	126	221	142	148	154	196	1,875
	その他問合せ相談	396	433	390	407	391	487	508	690	434	624	697	480	5,937
	合計	771	686	828	787	862	951	1,033	1,352	957	1,091	1,140	1,073	11,531
通 所 事 業 関 連	利用に向けた見学	3	0	3	0	2	6	0	0	0	0	2	0	16
	事業協力者	0	2	0	7	0	9	8	15	7	10	0	27	85
	来所による 問合せ・相談	4	15	4	0	4	16	4	11	7	6	6	7	84
	その他問合せ相談	35	39	35	15	29	35	42	50	38	33	35	37	423
	合計	42	56	42	22	35	66	54	76	52	49	43	71	608
上 記 以 外	来所による 問合せ・相談	170	139	179	169	220	206	232	219	184	186	170	220	2,294
	その他問合せ相談	138	134	156	121	178	139	150	124	85	119	146	121	1,611
	合計	308	273	335	290	398	345	382	343	269	305	316	341	3,905
視察研修実習		18	13	17	4	7	4	4	14	0	0	0	0	81

### 3. 要介護認定調査事業（北区から受託）

（事務事業費11,556千円、人件費68,567千円）

#### (1) 要介護認定調査事業（80,123千円）

##### 【事業内容】

北区より委託を受け、指定市町村事務受託法人として、介護保険の要介護認定調査を行う。

##### 【実績】

（件）

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	642	582	625	590	604	601	619	651	602	651	676	698	7,541
令和2年度	785	553	594	605	597	660	659	627	640	633	646	728	7,727

#### IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分

##### 1. 自動販売機設置拠点事業

##### (1) 自動販売機設置拠点事業

平成21年度より設置・管理を実施

【販売手数料収入合計】

424,240 円

(前年度：416,972円)

No.	設置場所	所在地	設置業者	台数 (台)
1	東京都北区役所第二庁舎 (自動写真機)	北区王子本町一丁目2番1号	ワールド・アメニティ	1
2	荒川治水資料館	北区志茂五丁目41番1号	コカ・コーラ	1
合 計				2



## 2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務

平成25年度より、東京都共同募金会北地区協力会の事務局を担い、北地区協力会及び北地区配分推せん委員会の運営に携わっている。

### (1) 東京都共同募金会北地区協力会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金
- ② 運動期間 令和3年10月1日～10月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会
- ④ 実施団体 北地区協力会

#### ⑤ 理事会

開催日	出席者数 (人)	内容
【書面開催】 4月	-	・ 令和2年度赤い羽根共同募金運動 事業報告及び決算・監査報告 ・ 令和3年度赤い羽根共同募金運動の展開 ・ 令和3年度北地区協力会総会
【書面開催】 9月	-	・ 会長・副会長・監事の選出 ・ 令和3年度赤い羽根募金運動の進め方
【書面開催】 2月	-	・ 令和3年度赤い羽根共同募金運動 事業報告及び決算・監査報告 ・ 地域配分（B配分）（令和3年度申請4年度使用）の報告 ・ 令和3年度赤い羽根募金運動 目標額 ・ 令和3年度活動計画案・予算案

#### ⑥ 総会

開催日	出席者数 (人)	内容
【書面開催】 4月	-	・ 令和2年度赤い羽根共同募金運動 事業報告及び決算・監査報告 ・ 令和3年度赤い羽根共同募金運動 事業計画案・予算案 ・ 令和3年度赤い羽根共同募金運動 目標額

#### ⑦ 事務打ち合わせ会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止

#### ⑧ 監査

開催日	出席者数 (人)	内容
4月	7	令和2年度赤い羽根共同募金決算監査

#### ⑨ 募金実績 (円)

戸別募金	19,973,783
事務局預かり	112,868
auPAYによる募金	3,700
合計	20,090,351
令和2年度合計	19,563,946

## (2) 配分推せん委員会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動の審査及び東京都共同募金会への配分の推せんを行う。
- ② 委員の構成 北区町会自治会連合会/北区赤十字奉仕団  
東京都共同募金会北地区協力会/北区民生委員児童委員協議会  
北区社会福祉協議会

### ③ 委員会

開催日	出席者数 (人)	内容
6/15	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の互選</li> <li>・令和2年度 歳末たすけあい募金 助成事業実績報告</li> <li>・令和3年度 歳末たすけあい募金 前期助成金申請内容の審査</li> </ul>
10/13	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長の選任について</li> <li>・令和3年度 歳末たすけあい募金 後期助成金申請内容の審査</li> </ul>
【書面開催】 1月	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度赤い羽根共同募金 募金結果</li> <li>・令和3年度歳末たすけあい運動募金 募金結果</li> <li>・赤い羽根共同募金 令和3年度申請 地域配分（B配分）の審査</li> <li>・令和4年度地域福祉活動費配分事業計画（案）について</li> </ul>

### ④ 地域配分実績（地域で集めた募金を地域で活用できる配分）

	法人・団体数	配分申請額（円）	配分決定額（円）
B配分（地域配分） 令和3年度実績	19法人・団体 43施設	12,710,000	12,710,000
地域福祉活動事業配分 令和3年度実績	無	0	0
B配分 令和2年度実績	23法人・団体 53施設	12,710,000	12,710,000

地域配分(B配分) : 施設の利用者が使用する備品や、小破修理、研修などの事業のために助成される配分金（上限：30万円）



